

平成21年度  
セント・ピーターズバーグ市派遣  
高校生親善研修生報告書

平成21年7月18日(土)～7月31日(金) 14日間



Takamatsu International Association  
財団法人 高松市国際交流協会

# 目 次

1. 日程（Ⅰ）	1
2. 親善研修生 報告書 Ⅰ	
高松工業高等専門学校 3年 嶋 克久良	
日誌・活動記録	2
感想文「親善研修を終えて」	12
3. 親善研修生 報告書 Ⅱ	
高松市立高松第一高等学校 2年 横山 みゆき	
日誌・活動記録	13
感想文「セント・ピーターズバーグで学んだこと」	29
4. 日程（Ⅱ）	31
5. 親善研修生 報告書 Ⅲ	
高松工業高等専門学校 3年 篠原 由衣	
日誌・活動記録	32
感想文「最高の出会いをありがとう」	45



## 日 程 表 ( I )

7月18日	6:35	高松駅発 リムジンバスにて関西空港へ
	12:25	関西空港発 成田空港へ
	16:05	成田空港発 デトロイトへ
	14:45	デトロイト着
		デトロイト泊
7月19日	10:20	デトロイト発 タンパへ
	12:57	タンパ着
<hr/>		
7月30日	7:00	タンパ発 アトランタへ
	8:40	アトランタ着
	10:25	アトランタ発 成田空港へ
7月31日	13:25	成田空港着
	14:35	成田空港発 リムジンバスにて羽田空港へ
	17:00	羽田空港発 高松空港へ
	18:15	高松空港着

## 日誌・活動記録

高松工業高等専門学校 3年 嶋 克久良

7月18日(土)

日付変更線をまたぐ移動のため、異常に長い一日となった。

デトロイト行きのチケットをもらい、それに搭乗するまではなんとか進めていたが飛行機の故障で修理が終わるまで飛べないという状況に。。(汗)

このときは「11時間も飛行時間があるわけだし、少し急いで飛んだら予定の時間に着くよね(笑)」なんて考えていたが、1時間の遅れはそのままで到着した。

デトロイトの空港はかなり広く、搭乗ゲートまでが遠いので間に合わないということで、デトロイトで一泊し、翌日の朝一の便でタンパに向かうことになった。

心配なのはホテル代と変更になった分の飛行機のチケット代で、それ以外はまあ平気だろうと思っていたらホテル代もチケット代もタダということでかなり安心した。

そこでうかれていたら、夕食に17ドルもとられた(涙)。

なんでこんなにホテルの食事は高いのだろうか。。

ココしか飲食店がないからって高値をつけすぎだと思った。

チップ込みで20ドル、夕食に2000円なんて死にたくなかった、なんせ不味い。

一応父親にこの状況を連絡、あんまり心配してないみたいでなにより。

とりあえず、ホストファミリーに会ったら謝ろうと思った、誰も悪くないけど。

7月19日(日)

昨日、飛行機で長時間の移動だったため、特に何も活動していなかったせいか、飛行機では全く眠れないため、ホテルについて仮眠をとってしまったせいか、眠れなかった。枕の形式が違うのもあるのだろう。

11時半に寝て4時に起きるといふ災難、それ以来寝付けない。仕方がないので身支度して小説を読み進める。

昨日の機内で2章まで読み進めていて丁度話が気になっていたのでラッキーだ、とポジティブに考えることにする。

やっとタンパ行きの飛行機に搭乗でき、安心したところでまた小説。

なにしろ機内では眠れないのだから。。

無事にタンパに到着でき、ホストファミリーに会えた。行ったと同時に家の大きさに驚いた、普通に富豪に思える。そして日本好きということで家にある品々をたくさん見せてもらった。

「サキ」と連呼しながら奥に入って行って右手に麒麟の一番搾りを携えて出て来た時は「本当に日本が好きなんだなあ」と考えさせられた。



夕食はマグロのステーキと白飯だった、ちなみにタイ米 (涙)。

日本人的には許せない白飯であることは言うまでもない、非常に残念な味だ。

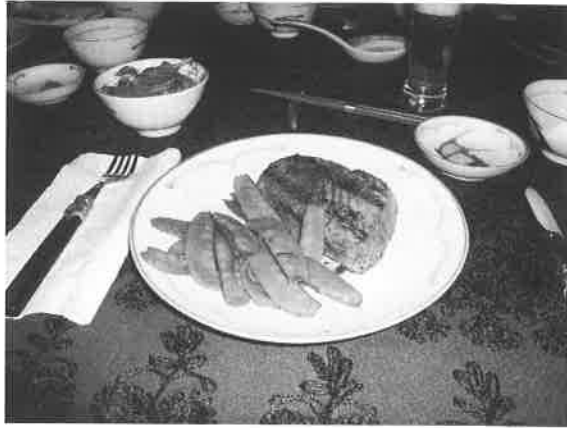
でもマグロのステーキはかなりの美味だったのでココは笑顔でデリシャス (笑)。

まあホストファミリーには気を使うべきかと。。。なんせご好意で受け入れてくれているのだから。

そして、この夫婦の箸のテクニックには驚かされた。

さらにそして、月桂冠を飲みだしたことには焦りを覚えた。

ミーハー日本かぶれなのだろうか、それとも本物なのだろうか、、お土産に渡した箸や扇子等が馬鹿らしく思えてきた。



### 7月20日 (月)

昨日、ビーチに行くと言われていたのだが、大雨が降って中止。

ザ・サンシャインシティでもこんな雨降るんだなーと思った。



予定変更で水族館へ。。。内心、ビーチはあまり乗り気でなかったのもまさに恵みの雨 (笑)。

水族館ということでなめていたら普通に疲れた (笑)。

なんせココはアメリカ、当然水族館内で話される言葉は英語、文字も英語。

日本語に脳内変換するという作業をするだけでかなり頭は疲れる。。。24時間英語の授業を受けているのと同じわけだし当然といえば当然か。そして今更だが会話の大変さを実感

した。英語を聞いて内容を理解できても、上手く返事が組み立てられない。どうしても形式的な構文か単語の羅列になってしまう。やはり紙の上で使う英語と生活で使う英語はまったく違う。

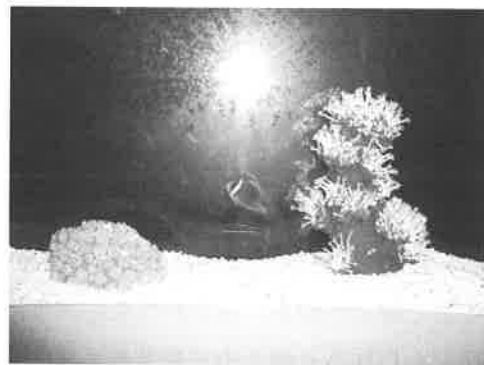
水族館の後はショッピングモールへ。日本のものと結構作りが似ていて「ソースはアメリカなのかなー」と思った。

明日は早く起きなければならないらしい。。。そこ以外を聞き逃してしまった (汗)。

とりあえず体が重いので早く寝たい、なにしろ日本じゃこんなにイベント続きの生活をした覚えがないのだから。

しかしホストの夫婦は結構な年のはずなのにピンピンしている。。。。

やはりアメリカ人とは体力が違うのだろうか。。。 (精神的にも)



p. s. 明日は水道局!?!に連れて行ってくれるらしい。

7月21日(火)

7時に水道局に着くよう50分に家をでる。  
ホストマザーに「英語がしゃべれないから心配だ」と言ったら「日本人か、日本語をしゃべれる人がついてくれる」なんて言うからすっかり安心していただけなのに全然そんなことはなかった。

水道局につくと運転手!?だと女性を紹介され、タンパの浄水施設に向かった。上から偉い人3人がついてくれて施設を一通り説明されつつまわった。



かなり語ってくれているが6割ぐらしか把握できなかったのどとにかく写真を撮った。

パンフレットを含めた資料をたくさん頂いたので、日本に帰ったら辛うじて理解できた内容をもとに資料を解読して、あらかじめもらっておいた日本の資料と比較してみたい。3箇所3人の話をきいて、気がついたら夕方になっていた。よくよく考えると俺一人のためにツアーになっていた。姉妹都市の研修生というのはそんなに偉いものなのか。。。ホ

ント場違いだと感じた。

この後、6時半からプールサイドでパーティーがあった。コレがその時の写真。。。。

なぜみんな視線がバラバラ(笑)。

奇跡的に5時から1時間仮眠がとれたのでなんとか乗り切れた。

かなりたくさんの人に話しかけられて解ったのが、子供の英語は聞き取りにくいこと。

年をとるにつれて聞き取りやすい英語を話してくれる。。。やはり気遣ってくれているのだろう、かなり助かる。

帰宅してシャワーを浴びる前に大学生の女の人が家に訪ねてきた。

大学で水環境を専攻していて、環境のための施設!?設備!?をつくるための募金を集めているらしい。。。かなり出来た人間のオーラを放っていた(笑)。

水環境の勉強で日本の姉妹都市から研修に来ているということにかなり興味を持っていた。

この人は好きなタイプの声でかなり聞き取りやすかったがやっぱり名前は聞き取れない。

(今まであった人の半分以上の名前が聞き取れなかった)

ここで解ったのが、自分から話をふった場合はなかなか会話になるということ。

話をふられると頭の中で色々考えてから話さないといけいけないけれど、自分からふった場合は先にそれなりに考えているせいか、返事に予測がつくからか、かなり楽に会話できる。



7月22日(水)

今日のスケジュールは植物園見学→大学見学→美術館見学、いわゆる名所めぐり!?

これは市の方が組んだスケジュールで、この後にホストファミリーとのスケジュールが加わる。。朝昼晩で組まれているので過酷だ。

晩はホストファミリーの娘の家族と食事会らしい。

昼間のスケジュールは俺一人じゃなかったので水道局の時とは違い、通訳の人がいた。

そしてTV局の人がカメラかかえて来た。。TVがあるから通訳がいるのか!?

まずはサンケンガーデン。

日本では見れないであろう植物が詰め込まれていた。

そして蚊がひどかった。。噛まれた痕は日本に帰っても黒く残るほど強力な蚊だった(笑)。

そして大学見学。

これといった驚きはなく、強いて言うなら教室に国旗が飾られていることぐらい。

アメリカ人はどれほど愛国心が強いのだろうか、ふつうに玄関に国旗を飾っている家もみたぐらいだから日本人とは比べ物にならないだろう。

最後に美術館。

サルバトロ・ダリ!?!とかいう人の美術館で普通に教科書で見たことのある絵がおいてあった。

通訳の人が色々調べてきてくれたらしく、一枚一枚丁寧に解説してくれた。

説明を聞くと納得できる絵ばかりなので凄いいには違いない。。

けどやっぱり芸術家はどこか変なんだと思う。

だってそうでもないと凄い作品は残せないと思う。。のは俺だけだろうか(笑)。

無事に終わって6時から食事会。

みんな一生懸命話しかけてくれたのでうれしかった、それと同時に上手く話せないことを申し訳なく感じた。

この感情をバネに出来たらいいなと感じた。

## 7月23日(木)

今日は市役所に顔を出す日。

市の偉い人たちに次々と紹介され、再び日本にいる時との扱いの違いに焦った。

かなり写真をとられるし、インタビューは難しいし、少し後悔した(笑)。

一段落ついて、コロシウムに行った。

3時の会議で紹介するからそれまで遊んで来いというノリで組まれた予定。

コロシウムは日本では体験したことないし、体験できないような遊び場だった。

屋外ではバスケ・バンジー・ロッククライミングなど、屋内では子供用ボクシング??やTVゲーム、とにかく体を使うさまざまなアトラクションがあって、ステージではよく解らないけどブレイクダンス!?!のようなことをしていた。

個人的には一人でうろろしつつ写真を撮りながらのんびりしたかったけど、横山さんのホストファミリーの子とその友達が連れてまわってくれると言い出し。。まゝご好意なのでありがたくいただいた。

アメリカは自由な国だからか解らないけど男でも普通に髪が長かった。

後で聞いてみると、学校で髪を切れなんて言われなかったらしい。

そして、やはり子供の英語は聞き取りづらかった。



長い英文を早口で言われると途中から聞く気が。。。まあ勉強なので頑張りましたが。

2時半に迎えが来て会議に出た、といっても5分ぐらい。

本当に紹介だけだったので安心した。

こんな凄そうな会議で何かしゃべれなんて言われても何もしゃべれない。

今回は実質一人でアメリカに来たわけだけれども、仲の良い友達とグループでアメリカに来たらどんなに楽しいだろうかと思った。

なんせ自分の英語が不甲斐ないせいで全然楽しみを共有できていないと思う。

もっと話す方の英語を勉強しようと思った。

今日はこれで一日終了かと思いきや、外に食べにいくって(汗)。

それで飯だけだと思っていたら「ビーチに行けてなかったしサンセットを見る」と車の中で聞かされて、カメラがないことを後悔した。

一応携帯で写真は撮ったが、雲がかかったために全然サンセットにならなかった(笑)。

その後 Blue Fugu という寿司バーにいった。

寿司バーということで「日本人一人ぐらいいるかなー」と期待していたけれど、日本ではないアジア系の人ばかりだった。

かなり値のはるお店で、普通のマグロなのに500円は取りすぎだと思った。

そして2300円とおもわれるうな重を注文した。

米が日本米ということもあって意外とおいしかった。

明日は2時からボウリング以外予定はないから昼まで寝ても構わないといわれた。

午前中に予定が組まれていないという状況が初めてだから、かなり安心した自分がいた。

さすがに昼までは寝ないだろうとは思うけれど最近よく眠れていないので、朝ご飯を抜かすぐらいは寝たいなと思った。



#### 7月24日(金)

不覚にも本当に昼まで寝ていた。

というより、初めてまともに睡眠をとることが出来たといっても良いぐらいだ。

2時からのボウリングは、ホストファミリーの孫のリース(15)・ソフィー(10)と横山さんのホストファミリーをまじえてボウリングだった。

みんながどの程度のスコアをだすレベルなのか解らないのでとりあえず100ちょっとになるように投げているが、予想外にも104で1位になってしまった(汗)。

なんかみんな「すごくスムーズになげるなあ」とか「コントロールが良い」とか異常に俺を褒めだしたのでいつも通りに投げようと思ってやってみたら154になって「150超えてるじゃないか!!」とかなり褒めてくれた。

ボウリングの後にとった写真(俺のホスト+孫+横山さん)



その晩はホストファミリーの娘の夫の誕生パーティーに参加させてもらった。  
思っていたとおり、晩飯もケーキも騒ぎ方も全てアメリカを思わせるスペックだった。  
家にはプールと卓球台のあるはなれがあって「どっちがやりたい？」と聞かれて、プールは後処理が面倒なので卓球をすることにした。  
この夫の一家はお爺さんお婆さんを含めて卓球が上手かった、もちろんリースとソフィーも十分過ぎるほど上手い。  
聞いてみると、リースの親父とお爺さんはずっと卓球をやってきたらしい。  
リースはサッカーチームに入っていると行ってたが普通に親父と善戦していた。  
ここでの卓球はかなり楽しかった。やはりスポーツと音楽は国境をこえるんだなと思った。  
この後“ジャパニーズゲームショー”なるものの話題をふられ「実際に日本人が番組やってるよ!!」などと色々説明されたがそれでも解らなかつた。  
それで You Tube で見せてあげると言うことになって実際みると“とんねるずのみなさんのおかげでした”のことだった(笑)。  
まさかタカさんがアメリカにまで笑いをふりまいているとか考えもしなかつた。  
「こんなゲームを考えたのは日本人が初めなんだ」とか色々日本の凄いところをアメリカ人に説明してもらった。。。なんだか俺より日本人度が高くて嫌になつた(笑)。  
明日からは2週目のホストファミリーの家でくらすことになっている。  
せつかくこの家に慣れてきたところだったので少し残念だ。

#### 7月25日(土)

移動日で2週目のホストファミリーが迎えに来た。  
今日はショッピングモールに行った後、早めに夕食を食べてハリーポッターを見に行くとのこと。。。英語版の映画をはたして理解できるのだろうか(笑)。  
ショッピングモールでは主にT-シャツの購入。  
もともとアメリカで買う予定にしていた、あまり服を日本から持参していなかつたので。  
偶然にも篠原さんのホストファミリーに出会った。  
「ユイはこの中にいるよ」と指差された店に入っていくとかなりあぶない匂いがした。  
アメリカにきてずっと思っていたのだが、アメリカ人は香水をつけすぎだし、家の中の芳香剤はキツイし、洗濯の洗剤は洗濯物に匂いをつけすぎだと思う。  
家に帰って、少し時間が余っていたのでみんなでレイズの試合をTVで観戦。  
「数日後には生でコレが見れるんだな」と思いながら見ていた。  
夕方になって夕食のために家をでた。  
当然、食べ切れなかつた。。。普通に考えてむちゃな量をなんで平気で出すのだろうかと思っていたらホストファミリーは何事もなかつたように平らげていた(汗)。  
そしてついに映画館へ。  
ハリーポッター英語版。。。ハリーって本当はこんな声だったのね(笑)。  
内容は6割以上わかつたと思う、動画があつたおかげで。  
ホストファミリーと話していて6割程はわかつたということをお伝えすると「コレは名作だから日本に帰って絶対吹き替え版でもう一度見るべきだ」とかなり推してきた。

この家族はかなり映画が好きなようで、家にもかなりのDVDがあった。

明日は教会に行くから8時に起きろとのこと。

#### 7月26日(日)

うまく眠れなかった。。。むしろ一睡も出来てないと思う。  
起きて頭痛が酷かったので頭痛薬をもらった。  
予定通り教会へ向かった。  
あの有名な“教会でお祈りでアーメン”なのだろうか。  
ついてみると、知識としてだけ知っている教会というものが  
実際にそこにあった。  
「仏教か!?!カトリックか!?!」と色々聞かれたけれど、家では  
そんな宗教的な活動を全くしていないのでひたすら首を



振った。。。けれどのちのち考えてみると、葬式でお経読んで  
もらったり、(遺体を)火葬している時点で仏教だなあと考えた。  
教会では薬が効いてきたせいか、熱いうえに眠かった。

家に帰って「午後からの予定はないから休むといい」と言  
われて安心した。

こんな混み混みのスケジュールのなか、一睡も出来てないな  
んて自殺行為だ。

2時間ほど寝るとほとんど回復した、やはり寝不足だったの  
だろう。

明日は警察に連れて行ってくれてガンシューティングをさせてくれるらしい。

日本では出来ないであろう経験になると思うのでかなり楽しみだし、存分に楽しみたいと思った。

アメリカでの生活もあと3日になってしまった。

#### 7月27日(月)

またもや晩寝付けなかった。

そのせいで朝には完全に頭痛が再発してしまった。

原因は寝不足だと解っていたので「薬を飲んで寝ていれば直る」とホストファミリーに伝えたが「そ  
れはだめだ、病院に連れて行く」なんて言い出した。

やはり日本でいたころとは扱いが違うらしい。

病院に行ったけれど「18歳未満なので許可書がいる」と医者が出して、結局何もせずに家に帰っ  
て薬を飲んで寝ることになった。

予想通り、寝るだけで回復した。

今朝のうちに「ガンシューティングは別の日にまわしてほしい」と頼んでおいたので安心して眠るこ  
とが出来たというのもあるかもしれない。

晩はピアでみんな集まって食事だった。

ココまで言うのもなんだが、やっぱりアメリカの食事は口に合わない。

知り合いの大人が「日本に帰ってきたら飯が上手くて太ったわー」と言っていたのが今なら解る気が

する。

体が受け付けなくて栄養を吸収できてないのか知らないけれど、日本を出るときは50キロだったのに今は46キロしかない。。栄養失調で死ぬんじゃないかな(笑)。

もともと170センチで50キロって時点でおかしいのに、本当に死ぬんじゃないかな。

ピアでかなりたくさんお土産を買った。

ワニの肉のジャーキーをクラスで配りたかったけど、10枚しかなかったので先生方にわまして、クラスには仕方がないのでバッファローの肉のジャーキーにした。

一枚200円を50枚購入で1万円。。日本では考えられない買い物だ(笑)。

明日はレイズの試合を見に球場に行く日。

チャンスがあったら岩村選手にサインをもらおう。



7月28日(火)

朝は葬式だった。

アメリカの葬式は教会で、火葬ではなく土葬。

「全く知らない人の葬式だなんてかなり場違いだな」と思いながらも、コレも貴重な経験になるだろうと割り切って最後まで参加した。

昼は待ち望んでいたガンシューティング。

マグナム・マシンガン・コッキングなど、全部で5・6種類は撃たせてもらった。

拳銃は初心者が撃つと衝撃で肩が外れるなんて言われていたからあらかじめ聞いてみると「そんなことはないよ」と普通に言われたので安心してきっていて、実際にやってみると肩が外れるというのは大げさだがかなり衝撃はきた。

そして音が凄かった。。かなり分厚いヘッドフォンをつけているのに(汗)。

リボルバーを撃つのはかなり難しいがコッキングとマシンガンはわりと簡単に撃てた。

率直な感想としては、あまり気分いいモノではなかった。

とにかく重たいし、銃口から普通に火が出てるし、なんといったって簡単に人を殺せるものを手に持っているという状況はあまり気分いいものではないと思う。



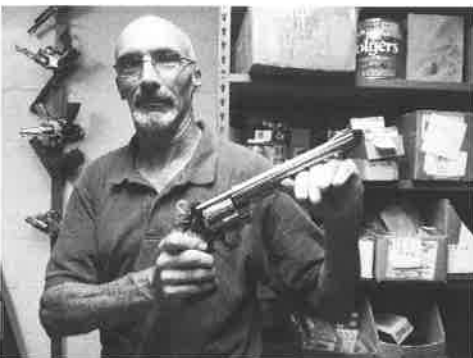
その後、ホストファザーの仕事場をみせてもらった。

日本の警察のイメージとは全然違って、あまりかしこまっていない職場だった。

部屋の奥にドアがあって、その奥には銃のコレクションがあった。

どれも自慢の銃らしく、どの銃の説明もかなり長かった。

そして待ちに待ったメジャー観戦の時間になった。



球場に行くとゲストの札を渡され、奥に連れて行かれるとカメラを持った人がたくさんいて少しして岩村選手が現れた。

メジャーリーガーに「この経験が将来に役立ってくれるといい」と言われて感動した。

写真も撮ってもらえたし、レイズの帽子にサインももらったし、かなり満足。

あの岩村選手ってところが大きいと思う。

次に案内されたのは観戦用の小部屋だった。

市長と同じ部屋と聞かされたときは「姉妹都市の研修生って凄い」と思った（笑）。

試合はレイズの圧勝と言っても過言ではない試合内容で6 - 2で勝った。

アメリカも残すはあと1日。

### 7月29日（水）

起きた瞬間、この家に来て初めてまともに疲れがとれたと感じた。

やはり朝は予定がないと言われると疲れがとれるのだろうか（笑）。

10時に起き、シャワーを浴びて、11時からホストマザーの買い物についていった。

文具用品のスペックが日本とは大違いで、日本に生まれてよかったと思った。

昼に帰って「夕方まで予定がないから部屋で休んでいるといい」と言われて部屋で日記をつけていたらいつの間にかベッドで仮眠をとっていた（汗）。

そして日本の浦安で英語を1年間教えていたというホストファミリーの娘に「オハヨウゴザイマース、ゲンキデスカー」と起こされた（汗）。

まあ向こうは自分を病み上がりと思っているだろうから仮眠自体は問題ないだろう。

5時ごろに家を出て、よく解らないところに着いた。

飲食店がすごく広い駐車場を持っていて、そこにバイクのいろんなチーム!?が出店のようなものを開いていた。

普通にバイクを数台売っていたり、パーツや用具を売っている。

それを見に来る人たちもバイクで見に来るので、バイクの見せ合いのような状況がうまれて、一種のお祭りのような雰囲気になってる。

月に何度かこういったことが行われているのだろうか。

晩飯はその飲食店で食べた。

メニューはハンバーガーやフライもの、肉系が多かった。

なにを食べようか悩んでいるとき、ホストファミリーの娘が「コレは指のフライだよ」と言い出したときはかなり焦った。

何のことかと自分の指をさしながら「ゆび!?!?(汗)と訴えていると最終的に“エビ”という結論にいたってかなり安心した。指のフライなんてグロすぎる。

結局、エビのフライのメニューを食べることにした（笑）。

家に帰って早急にスーツケースの準備に取り掛かった。

明日は4時半に起きて空港だから、朝する時間なんてない。

お土産も詰めて持ち上げてみた感じで「んー23キロもはないな」と予想を立てつつ実際に体重計に乗せてみると。。。針は47を指している（汗）。

「50キロとかありえんやん、つか俺そんなん軽く持ち上がるんかよ（汗）」となった。

2分ほど方針に悩んで、体重計が狂っているという結論にいたり、自分が乗ってみた。  
針が指すは100キロをほんの少し回ったところ。。体重計がおかしいじゃん（笑）。  
そしてホストファミリーに伝えようと体重計から降りた瞬間、ようやく日本との単位の違い、こっちはキロじゃなくポンドだということに気がついた。  
あやうく大恥をかくところだった。  
 $47 \times 0.45 = \text{約} 21 \text{ キロ}。。$ 問題ない、きっと平気だろう。  
ついにアメリカでの生活もおわったな。。って空港という難関が（笑）。  
明日は篠原さんも込みで空港だからきっと平気だろう。

7月30・31日（木・金）

空港に着くと篠原さんとそのホストファミリーはすでに到着していた。  
やけに手荷物が大きいな。。スーツケース重たかったのか（笑）。  
係りの人のところに行ってスーツケースを乗せてみると。。48ポンド、完璧だ（笑）。  
無事に物事が進んで安心してしていると横山さんとそのホストファミリーが現れた。  
することもないので通路の端で立ち尽くしていると、横山さんたちはなにやらスーツケースを開けてガヤガヤ話し込んでいた。。スーツケースが重かったのか（笑）。  
気がつくとも篠原さんとそのホストファミリーはいなくなっていて、後で聞いてみると朝ご飯を食べに行っていたらしい。。時間結構ないのにワリとのんきだなあ（笑）。

帰りのアトランタからの13時間の移動の時も事件が起きた。  
滑走路が込んでいるとかでなかなか飛ばない。。結局また1時間待たされた。  
成田についたのは予想通り1時間遅れた時間帯。  
横の席に座っていたおじさんが海外出張に慣れている雰囲気を出していたので「1時間遅れて到着しましたけど。。羽田からのコレ乗れますかね??」と聞いてみると「んーコレ思い切ったチケットきってるねー、国際便でコレはだめだよ」と言われた。  
ココでJTBのことを一気に愚痴りたくなった。。だって行きの時なんてデトロイトに一泊しているんだから（涙）。

ココに書かせてもらいますけど。。JTBさん、次の人たちにチケット組む時は、少々飛行機が遅れて到着しても次に安心して乗れるように計画してください。



おじさんは「海越えがスムーズに行ったら乗れると思うよ、バスはだいたい45分だから」と言う。。この場合のスムーズってまた人任せな条件だな。

飛行機を降りてそれなりに急いで移動していると、あの親切なおじさんが急ぎ足で移動していた。。ついて来いと背中で語っているような気がした（笑）。

この人のおかげで無事に羽田に到着。

そしてそのまま無事に高松に到着することができ、思い切って話しかけてよかったと心から思えた。

こうして、今回の研修は終わった。

小学校の先生の遠足風と言うなら「家に帰るまで、この経験をお家の人に話すまでが研修」ということなので、とりあえず親、そして友達や学校の先生にこの貴重な体験を話さなければならない。

## 感想文



高松工業高等専門学校 3年

嶋 克久良

### 親善研修を終えて

はじめ、この研修の話を学校のチラシを見たときは自分が実際にアメリカに行っているなんて考えもしなかった。

なにしろ、はじめは作文を出そうとすら思っていなかったのだから。

先生に勧められ、セント・ピーターズバーグについて調べ、たまたま自分の興味のある分野、水環境が高松市とよく似ていることを知り、応募するにいたったのである。

このような貴重な経験が出来たのは、ひとえに先生のおかげだ。

きっかけは関係ない、選ばれたのだから精一杯やろう、それがアメリカに飛び立つ前の意気込みであった。

アメリカから帰った自分は2つの面で成長したと思う。

まず一つ目は、単純に世界観が変わったこと。

日本で普通なことがアメリカでは普通ではなく、アメリカで普通なことが日本では普通ではない。

そこからうまれる、日本の良いところ悪いところ、アメリカの良いところ悪いところ。

アメリカを知ること、同時に日本を知ることが出来た。

そしてこれは自分を人として、ひとまわりもふたまわりも大きくしたと思う。

二つ目は、知識面で成長できたこと。

言ってしまうと、今の時代インターネットを使えば、いくらアメリカのことだと言えど、たいていことは調べることが出来る。

しかし僕は、水不足に悩む高松市と同じ環境にある外国の都市、そこに直接赴き、生の意識・データ・知識に触れることが出来たのだ。

この経験はこれからの人生に役に立たないわけがないと確信している。

興味がある分野を理由にアメリカへ飛び、現地の人々の意識調査をし、なおかつ知識も深める、なんて普通出来ない経験である。

このような機会をあたえてくださった高松市、セント・ピーターズバーグ市の関係者の皆様、ホストファミリーの皆様、本当にありがとうございました。

## 日誌・活動記録

高松市立高松第一高等学校 2年 横山 みゆき

7月18日(土)

朝6時20分に高松駅集合。篠原さんが1週間遅れて来ることが前日に決まって、嶋くんと2人だけで行くことになっていた。2人だけで何回もバスや飛行機を乗り継いでセント・ピーターズバーグまでちゃんと行けるか、かなり不安。とりあえず大阪までのバスに乗った。バスの中では、朝早かったのでもう寝ていた。一応飛行機の乗り方の予習もしたり。

関西空港に無事到着。予習のおかげで(?)チェックインや出国審査はきちんとできた！空港のお姉さんがとても優しくかった。あまり時間に余裕がなかったので、そのまま出発ゲートに行き、飛行機に乗った。

成田到着。乗り換えて、デトロイトへ。きちんと飛行機には乗れたものの、なかなか飛行機が離陸しない…飛行機に異常があつて修理をしてるみたい。。結局1時間も遅れて成田出発。ちゃんと予定通り行けるのか?! デトロイトまでは12時間くらい。持ってきていた本を読んだり、音楽を聴いたり、寝たりしていた。機内食は2回出たかな。機内食はまずいとよく聞くけど、結構おいしかった！空が全然暗くならないし、何時なのか分からないので、朝ごはんを食べてるのか、昼ごはんなのか、晩ごはんなのか、よく分からなかった。飛行機内のアナウンスは日本語でもしてくれたので大丈夫だった。

デトロイト到着。うおー！アメリカだーっ！時計を見るとそんな喜んでる暇もなく、タンパ行きの飛行機の出発時間までに1時間もない!! 急いで入国審査。指紋をとられたり、顔写真を撮られたり。英語でいろいろ言われたけど、よく分からなくて困惑。なんとか入国審査を乗り越えて、スーツケースを取って税関を通り、チェックインに向かおうとした。しかし！日本語のできる外国人の空港のお兄さんに「この飛行機には乗れない」と言われた!! 話を聞くと、ゲートが遠くて、走っても時間に間に合わないらしい…やばい！嶋くんと2人でかなり焦る。「どうしてもこの飛行機に乗らないといけない！ゲートまでダッシュするから乗せてください！」と頼んでみたけど、「走っても間に合わない」と言われた。次のタンパ行きの飛行機は何時なのか尋ねると、今日はもう無いらしい！タンパに今日中に行かないといけないことを伝えると、アトランタ経由なら今日中に行けるという返事。急いでそのチケットを取ってもらい、なんとか行けるようになった。そしてチェックインに向かった。しかし！またしても、違うお姉さんに「この飛行機には乗れないよ」と言われる!! 手違いかなんかで、席がないみたい…お兄さん。。(泣)そして次のチケットを取ってもらおうと翌日の飛行機だった。もう翌日の飛行機で行くしか方法が無いみたい…そして空港の近くのホテルもとってくれた。しかも無料で。仕方がないので、日本のTIAの塩田さんに電話。日本は朝の5時前。朝早くにすいません。。事情を伝え、セント・ピーターズバーグ市の職員のElizabeth(エリザベス)にも電話。英語でちゃんと伝えられるかな…電話するだけなのにドキドキ。もちろん彼女は日本語はしゃべらないし、私たちのカタコトの英語で事情を伝える。なんとか伝えることができた。

そのまま空港の人に言われた通り空港のバス停に行きホテルへのバスを待つ。確かにバスは何十台も来てるけど、私たちのホテルのバスが何分待っても来ない…他のバスの運転手さんに聞いてみると、私たちのホテルのバスは電話をしないと来ないらしい。ホテルに電話をして、お迎えに来てもらう約



束をする。そしてバス停で待っていると、違うホテルのバスの運転手さんが「うちのホテルは君たちのホテルの隣だから連れて行ってあげるよ」と言ってくれた。そのバスに乗せてもらい、ホテルまで送ってもらった。バス代はタダだけど、チップを2人とも\$5ずつ払った。

ホテルでチェックイン。チェックインのときに\$25払って、チェックアウトのときに返してくれるらしい。翌日の空港までのバスの約束、モーニングコールの約束をした。部屋に入ろうとしたけど、ドアの開け方が分からず困っていると、知らない外国人の人が教えてくれた。

夕食はホテルのレストランでハンバーガー。よく分からないけど、なぜかドリンクも頼まされた。出てきたハンバーガーはアメリカらしくとても大きい！しかも大量のポテトが勝手についてくる。味は最高！しかし多すぎて、全部食べきれなかった。料金は、ハンバーガーは\$10と割安なのに、ドリンクが\$7くらい。料金設定おかしくない?! チップも加えて\$20払った。

夜8時半。外を見ても全然暗くならない。9時くらいになってやっと暗くなってきた。部屋に戻ると、ホテルの電話に留守電が入っていて、なんと私のホストマザーのChika（チカ）から。Chikaは日本人なので日本語で「心配しているので、電話下さい」とのこと。心配かけてごめんなさい。。電話をかけて大丈夫だと伝えた。

飛行機のなかでよく寝たので、あまり時差ボケもなく、明日ちゃんとタンパまで行けるのか、不安を抱え、11時就寝。



↑夜8時くらい

7月19日（日）

6時起床。昨日飛行機の中で寝過ぎたのか、あまり寝れなかった。荷物を持って朝食を食べに行く。朝食のバイキングはタダだった。ロビーで昨日渡した\$25を返してもらい、そのまま、バスに乗ろうとホテルの外に出る。寒いー！半袖で外に出ると冬かと思うくらい寒かった。半袖しか持ってきてないのに、こんな寒さの中2週間もやっていけるのか…その何時間後かに分かったことだけど、そんな心配は全然いらなかった。こんなに寒いのはデトロイトだけだった。

その寒さに耐えきれなかったので、ホテルの中でバスを待ち、8時のバスに乗ってデトロイト空港へ。この日は予定通りチェックインでき、スーツケースを預け、X線検査を通り、出発ゲートへ。ゲートへは、小さい電車みたいなのに乗って行かないといけなくらい遠かった。出発時間の1時間以上前に着いたので、ゲートの近くのお店でジュースやポストカードを買った。そして、飛行機に乗る。空港の人がアナウンスで、たぶん「ファーストクラスの方から乗って下さい」とか「〇列から〇列の方乗って下さい」みたいなこと言っているんだろうけど、全然英語が聞き取れない。だから適当なタイミングでチケットを渡してみたら、乗ることができた。しかし、飛行機には乗れたものの、飛行機内のアナウンスも周りの人の言葉もすべて英語。分からない。。

飛行機で2時間くらい、昼1時になんとかタンパ到着。飛行機を出ると、ホストファミリーのみんなや、市の人が旗を持って出迎えてくれた。2日かかってやっとタンパに着くことができ、みんなに会うことができた。うれしいし、安心した。とても優しい人ばっか！みんなで記念撮影。

そのあと嶋くんのホストファミリーと私のホストファミリーと一緒に“FIVE GUYS”というハンバーガー屋さんに行った。結構“FIVE GUYS”は有名らしくって、店内には紹介された新聞が張られていたり、賞をとったりしていた。ふつうのハンバーガーを頼もうとしたけど、Chikaが「日本人にはふつうの

サイズでも大きいと思うよ」と言ってくれたので、リトルベーコンチーズバーガーにした。Chika も同じバーガーで、ホストシスターの11歳のMaya (マヤ) と9歳のMika (ミカ) はリトルホットドッグ。バーガーもホットドッグも好きなトッピングをいくつでもトッピングできるらしい。リトルでもおなかいっぱい。アイスティーを飲んだんだけど、sweet と non sweet の2種類があって、sweet を選んだ。めちゃくちゃ甘い！アメリカン！ポテトはみんなで食べても食べきれなかったのので、持って帰ることにした。お店から出ると、朝のデトロイトがウソのように暑い！セント・ピーターズバーグは本当に暑いところだ。Maya とMika に「いつもこんなに暑いのか？」と聞くと「まだいつもより涼しいほう」らしい。

家に帰って、荷物の片づけをした。ホストファザーのJose (ホセ) が帰ってきた。家には2匹かわいい猫がいる。家の中を紹介してもらった。

夕方の4時くらいから“macy's”というモールにChika、Maya、Mika と一緒に行った。VANS やGAP など日本にもあるお店もいくつかあった。Tシャツを買った。モールは日曜日は夕方の6時で閉まるらしい。早っ！



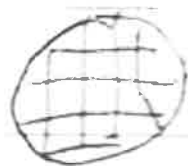
モールに行ったあと、近くの本とCDのお店に。私が音楽が好きなのを知って、CD屋さんに連れて行ってくれた。いろんなCDがあっておもしろかった。日本では本が値下げされているのを見ることはないけど、ここでは値下げされていた。駐車場で、人の手と足の先がドアから出ている加工のしてある車が私たちの車のとなりになってみんなビックリ！



7時すぎに家に帰り、「アメリカンピザを食べさせてくれる」ということで、“Domino's Pizza”のピザをパソコンで頼んで、Chika と車で取りに行った。Chika はもちろん日本語もペラペラだ

↑家にいるネコ

けど英語を話してくれるので、うれしい。ピザをもらって、帰宅。アメリカのLサイズのピザはやっぱり大きかった！ピザの切り方が日本とは違って、四角に切っていておもしろかった。私にはおいしかったけど、みんなは「おいしくない。これはアメリカンピザではない」と言っていた。みんなよく食べるな。



ピザの切り方

そのあとChika が日本の私の家に電話させてくれた。家族はみんな安心したみたい。

Maya、Mika は日本語を話しはしないけど、Chika がときどき話す日本語をほぼ理解している。すごいな～！Chika は日本語も英語もペラペラでかっこいい！

シャワーを浴びて、アメリカのシャンプーを使わせてもらった。日本にはない、スイカみたいな(?) いいにおい。私のベッドの上にはいつもネコが寝ている。10時半就寝、ネコと一緒に。

7月20日(月)

6時起床。今日はMayaの誕生日。朝Mayaに会ったとき「Happy Birthday」と言った。朝食はスクランブルエッグ、トウモロコシのお粥、シチューみたいなもの、チョコチップワッフル。

7時半に家を出発し、レクセンターへ。Chika やレクセンターのスタッフの人たちが紙にサインし

ていたんだけど、ペンの動きが速すぎる！文字は何を書いているのか分からないくらい。それでもOKみたい。アメリカ人のサインはカッコいい！

Maya、Mikaとティーンズキャンプに参加した。小学生から中学生くらいの子たちが集まってゲームをしたり、話をしたり、いろんな活動をする。午前中は12、13歳の子たちと iPod を交換して音楽をきかせてもらったり、体育館でドッジボールや靴下脱がしあいゲーム(?)をしたり、トランプをしたり、近所のゴミを集めに行ったりした。外は芝生で空が広くてとってもきれい！初めて会ったのに、みんな仲良くしてくれてうれしかったな～！アメリカの人はみんな誰にでも人見知りしないし、フレンドリーだし、いい人ばっか！そのあとコミュニケーションについての話を聞いた。発表の時、みんな自分から発表したいと言っていた。日本だと、発表を嫌がる人が多いのにアメリカらしいな～。



↑ドッジボール

そして昼食。ピザ！Mayaが「昨日のピザはまずかった。これが本当のアメリカンピザだよ」と言っ センピの空→ ていた。おいしかった。



昼食の後、Mayaと一緒に段ボールの箱にペイント。Mayaの好きなスポンジボブの絵や、名前を英語と日本語で書いた。みんな手や服がペンキで汚れているのに、気にせずペイントに熱中！おやつの時間。日本のガムをみんなにあげた。「Soft!」と嬉しそうに言っていた。アメリカのガムも貰ったけど、確かに少し日本のより硬いかな。Garin (ゲイリン) という子がおかしをくれた。本当によく食べる。クッキーもチョコも何もかもが甘い！みんな私の携帯電話が大好き！薄いのと、待ち受け画面が動くのがカッコいいらしい。日本の写真を見せてあげた。レクセンターのスタッフの人に「ミーミー」というニックネームをつけてもらった。「Miyuki (ミユキ)」という名前はなかなか覚えられないらしい。



4時半くらいに Chika がお迎えに来てくれて、「Publix」というスーパーマーケットへ。Mayaのバースデーケーキを買った。すごい蛍光色な、カラフルなケーキ。かわいい！スーパーで驚いたのは、20のコーラが\$1もしないこと。Chikaが缶のアイ스티ーを買ってくれた。

↑キャンプで

帰宅して、疲れていたのので6時から7時半まで寝た。夕食の時間に Chika が起こしてくれて、Mayaの好きな「マカロニ&チーズ」とアボカドのサラダを食べた。おいしい！買ってもらったアイ스티ーを飲んだが、やっぱり甘い！そのあと、7時半くらいに、近所に住む Maya の友達の Ema (エマ) がやって来た。

ハッピーバースデーの歌をみんなで歌い、ケーキを食べた。甘い!! 私は一切れ食べるのにひと苦労! Maya、Mika、Emaは「おいしい!おいしい!」とよく食べていた! EmaがMayaにプレゼントしたスポンジボブのCDを大きな音でかけながら、3人は踊る! アメリカの子はおもしろいな～。9時くらい

にEmaを歩いて家まで送っていった。シャワーを浴びたあと、Chikaと日本語でいろいろな話をした。Chikaは大学まで日本で暮らしていて、そのあとアメリカでも大学に行ったらしい。今は日本語と英語が同じ速さで出てくるらしい。かっこいいな～！

11時半就寝。

7月21日(火)

6時半起床。朝食はチョコチップワッフルとバナナ。このワッフル大好き！

今日もキャンプへ。レクセンターの外にあるコートで折り紙をみんなに教えてあげた。つるやTシャツや手裏剣を折った。みんな結構折り紙には苦戦していた。「Cool!」と言っていた。中にもどって、トランプで

スナップというゲームをした。やり方が分からなかったので、おしえてもらった。英語もルールも理解しないとイケないので大変だった。いろんな子が参加してきて楽しかった。今日もコミュニケーションの話聞いた。たぶんコミュニケーションの話は毎日あるのかな？ロールプレイングをしていて、



↑折り紙教え中

みんなうまかった。

昼食はチキンをナンみたいなので包んだやつ、スイカ、チョコレートミルクとフルーツジュース。おいしかった。昨日あげた日本のガムをみんなとても気に入ったらしく、「ガムちょうだい」と言われたので、あげた。喜んでくれてうれしかった！スネイカーというチョコを食べた。チョコレートバーの中にキャラメルとピーナッツが入っていて、とても甘くて、10cmくらいのバーを食べるのもしんどい…男の子に「Hello」は日本語でなんて言うの？」と聞かれたので「こんにちだよ」と教えてあげた。みんな知っている日本語を言っていた。そのうちみんな「こんにちは、バカ！」とカタコトの日本語を延々繰り返して爆笑していた(笑)日本の漫画が好きな女の子がいて、その子が日本の漫画についての本を持っていて見せてもらった。男の子が本に描いてある絵のモノマネをしてくれておもしろかった。

お昼からはみんなと一緒に映画館へ行った。たぶん迷子にならないために、腕にレクセンターの電話番号の入った腕輪をつけてもらった。私はジュースだけ、Mayaはポップコーンとジュースを買った。ポップコーンやジュースはかなり大きい！Mayaに「全部食べられる？」と聞いたら「食べられる」だって。きちんと映画の終わりまでに食べきっていた！ビックリ!“アイスエイジ2”を観た。英語はほぼ聞き取れなかったけど、映像である程度ストーリーはわかった。映画館の中はクーラーがガンガンで寒かった。映画館に置いてあったユーフォーキャッチャーをしたけど、なにも取れなかった。1回50¢。

レクセンターに戻って、Chikaがお迎えに来てくれた。

帰宅して、1時間だけ寝た。映画中も少し寝てしまったく



↑Mayaとケーキ



↑ポップコーンとジュース

らい、眠かった。

6時からプールパーティーに行った。Maya、Mikaはプールで遊んでいた。私はプールサイドから見ていただけだったが、Mayaに「Give me hug」と言われハグしたり、ウォータースライダーの水しぶきを浴びたりしたので、プールに入ったくらいにびしょぬれになってしまった（笑）それぞれの家族が持ち寄ったチキン、サラダ、ポテト、ゆで卵、ケー



↑ Mikaと

7月22日（水）

7時半起床。ベーコンがあったので少し食べた。MayaとMikaはキャンプへJoseに連れて行ってもらっていた。今日はCity Hallに行かないといけないので、私はキャンプへは行けなかった。ChikaがCity Hallまで送ってくれるので、Chikaと車で家を出た。途中でマクドナルドでソーセージマックマフィンとチョコレートミルク。2つとも日本のマックにはないな～。その後、スーパーマーケットで日本へのお土産用のスナックとマニキュアと週刊誌を買った。週刊誌の表紙はマイケルジャクソン。スーパーはやっぱり大きくて、買い物に1時間もかかってしまった！お肉は大きいのが長く並んでいたし、冷凍食品やアイスが並べられている長い冷蔵庫が何列もあった。飲み物やおかしの色はとってもカラフル！服や靴まで売られていた。

9時、City Hall。そこで嶋くんとプランタムラ夫妻に会った。夫妻が今日1日センピを案内してくれるらしい。奥さんのNobuko（ノブコ）は日本人。



↑ Subwayのサンドイッチ



↑ プールパーティーで

キでパーティー。

どれもおいしかっ

た！Chikaの作ったサラダは好評で、レシピを聞かれていた！

そのあと、ホストファミリーのみんなと一緒に海の周りを歩いた。8時半くらいでちょうど日が暮れかかっている！ときどき海ではイルカが見れるらしい。でも、この日は見れなかった。

帰ってシャワーを浴びて、10時就寝。



↑ スーパーマーケット

まずサンケンガーデンへ。そこではテレビの人が待っていた。サンケンガーデンは植物園で日本では見れないたくさんのきれいな花や鳥をみた。暑い！見学のあと、テレビの取材。Nobukoが通訳してくれた。カメラマンの人と頬と頬をくっつけるアメリカン挨拶をした。

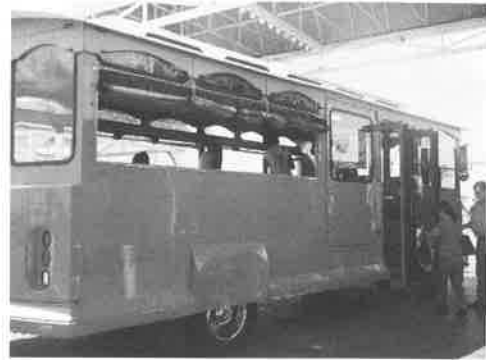
昼食は“Subway”というサンドイッチ屋さんのサンドイッチ。長さが30cmくらいあって、一人で食べるのは無理だろうな～。なので2人で1つ食べた。“Subway”というのは“地下鉄”という意味で、昔地下鉄のそばにサンドイッチ屋さん

が多くあったかららしい。

そのあとセント・ピーターズバーグ大学。アートを学ぶ大学らしい。大学の中には美術館や劇場があった。けっこう本格的ですごい！美術館には学生の作品が置かれてあって、日本人の作品もあった。日本の大学よりも教室は少しせまい(?) 休憩室には学生のための卓球台やポップコーンマシーンがあった。あと1か月で学校が始まるので手続きをしに来ている人が多かった。

ダリ美術館。Nobukoが絵の意味を説明してくれた。ダリの絵はいろんなものを表現していておもしろい！ダリのTシャツとバッチを買った。

そのあとPierに行った。“Pier”というのは栈橋という意味。栈橋を渡ったところであって、そこまで赤い可愛いバスに乗って移動した。風が気持ちいい！Pierにはレストランやお土産屋さんがあった。夫妻がワニのジャーキーをプレゼントしてくれた。おいしかったけど、かなり辛かった。ほかにも、バッファローやカンガルー、豚などのジャーキーがあった。屋上には来週みんなでパーティーをする“Cha Cha Coconuts”というレストランもあった。そこで細い柱の上にコインを投げて載せる遊びをしたが、夫妻、鳴くん、私、4人ともダメだった…



↑ Pier に向かうバス

City Hallに戻るとChikaがお迎えに来てくれて、鳴くんのホストファミリーの家へ行った。ホストマザーのLinda(リンダ)が家の中を案内してくれた。とっても広くて驚いた。

帰宅して、Joseがチキンとポテトチップスとサラダを作ってくれた。めちゃくちゃおいしかった！アメリカではお父さんも料理をよくするみたい。食べているとき、Mayaが「キャンプでみんなが『Miyukiはいないの?』と言っていたよ」と教えてくれてうれしかった！

夕食の後、みんなでディズニー映画の“ボルト”のDVDを観た。まだ日本では上映されていないから、なんか得した気分(笑)。言葉はあまり分からなかったけど、映像で理解できた。感動！MikaがJoseに「泣いていたでしょ」と言っていた(笑)。かわいいな～。観ているとき、Joseが豆をくれたので、殻ごと食べていると、殻を割って食べるやつだったみたい(笑)。食べ方を教えてもらった。

11時就寝。

## 7月23日(木)

7時起床。今日は制服を着ないといけなかったのですが、制服を着た。ChikaやMayaは「かわいい」と言っていた。Maya、Mikaをレクセンターへ車で送った後、Chikaがドライブしてくれた。どこも芝生や木があって、本当にきれい。



↑ バンジージャンプ

9時City Hall。議員の人と話して、市長の部屋や議会室を見せてもらった。Chikaが通訳をしてくれた。残念ながら、市長は休暇を取っていて会うことはできなかった。

制服から私服に着替えて鳴くんとコロシウムへ。同じキャンプに参加している子たちや、たくさんの子たちが遊んでいた。外ではバンジージャンプ(?)、ゴーカート、ロッククラ

イミグ、バスケ、中ではダンス、ペイントタトゥー、アクセサリ作り、DVD作り、いろんなアトラクションができた。Maya やキャンプの子たちと会って、ひもを腰につけて引っ張り合う (?) アトラクションをした。Maya と勝負したけど、勝った！そのあと、みんなでバンジージャンプ (?) をしに外へ。

バンジージャンプと言っても、体にひもをつけて、トランポリンの上で跳ぶやつだけ。みんなが「たのしいよ」と言っていたので、チャレンジ！楽しかったけど、ちょっと怖かった。

そのあと昼食。サンドイッチ、ブドウ、チョコレートミルク、フルーツジュース。みんなで写真を撮ったり、メールアドレスを交換したりした。



↑ キャンプの友達と

アクセサリ作りのところへ行って、ビーズのブレスレットやミサンガをつくった。みんなに作り方を教えてもらった。そのスタッフの人が「DVDをつくることのできるから、作ったら日本にも持って帰ることができるよ」と教えてくれたので、作ろうとしたけど、時間がなくて作れなかった。

市の職員の Colleen (コリーン) がコロシアムまでお迎えに来てくれて City Hall へ。また制服に着替えて議会に少しだけ参加した。緊張した～。

Chika が来て、Maya と Mika を迎えにレクセンターへ。これがキャンプのみんなと会うのは最後だったので写真を撮らせてもらった。もう会えないのはさみしいな…。

夜は私がぶっかけうどん、Chika がサラダ Jose がステーキを作った。「うどんおいしい」と言ってくれてうれしかった！ステーキはアメリカンな感じでもとてもおいしかった。夕食の後、海へ夕日を見に行った。夕暮れは8時半ごろ。海の中を歩きながら見る夕日は最高！海も空もとてもきれい。。



↑ ステーキとうどん

Mika はサンゴを集めていたり、小さい魚やエイがいたりすごく自然豊かなところだな～。ビーチでライブしている人もいた。

9時くらい、海からの帰りに夕食でお腹いっぱいだったのに、Jose が「マックのアイスを食べる」



↑ マックのアイス

と言い出したので、みんな一緒に食べた。アメリカらしい食生活。

帰宅して、日本からのお土産を渡した。扇子、折り紙、お箸、おかし。おかしはファミリーみんな大好きなので、喜んでた。日本の家族、友達、学校、高松の写真も見せた。

みんなよろこんでくれた。

11時半就寝。



↑ 海で Maya、Mika と

7月24日(金)

7時半起床。準備をして、ファミリー全員と車で朝マックへ。ドライブスルーしようとしたけど、朝でも混んでいたので、Joseがソーセージマックマフィンを買ってきてくれた。Mika、Joseは2つも食べていた！どこのマックも朝から人がいっぱいみたい。

Lake Parkへ。ジャングルを橋を渡りながら歩いて行く。鳥や木がフロリダらしかった。ときどき湖のなかから聞こえる「ガッ」という音は、ワニの音らしい！ジャングルすごい！

USFへ。University Southern Floridaという大学。ChikaとJoseはこの大学の学生だったらしい。キャンパス内をドライブした。とても大きかった。MayaやMikaは車の中で歌を歌ったり、デジカメでムービーを撮ったりしていた。おもしろかった。

それから、タンパのダウンタウンへ。昔の建物がたくさん残っているらしい。どの建物もレンガ造りでかわいい！アイス屋さんに入って、アイスを買った。チョコレートアイスにオレオを入れてもらった。グミやクッキー何でも入れることができた。しかも、目の前で作ってくれる！チャイルドサイズでも大きい！おいしかった。タンパのダウンタウンを通る黄色いかわいい汽車に乗って移動した。私は古着が好きなので、古着屋さんに入れて行ってくれた。いろんな服が売ってあった。海賊の飾りをしてあるご飯屋さんでサンドイッチを買った。店内はとてもかっこいい。タンパのダウンタウンでは、

2、3月頃に海賊のコスプレをしたりするお祭りが開かれるらしい。とても盛り上がるんだって。おもしろそう！汽車に乗って終点まで行ってみると、水族館や大きなショップやおもしろそうなところがたくさんあった。



↑ Lake Park



↑ タンパのダウンタウン



↑ ボウリング

家の近くまで戻って、鳴くんたちとボウリング。くつのサイズを選ぶとき、日本とはサイズの表示の仕方が違ったのでよくわからなかった。とりあえず、Mayaと同じサイズにした。あまりボウリングはしたことないけど、3ゲームして1ゲーム勝った。Mikaはガーターしないようにレーンに壁をつけてしていた(笑)。ナチョスを食べた。ボウリング場で夕食の相談。Chikaが「夕食はアメリカンでもメキシカンでもイタリアンでもなんでも食べれるけど、何がいい？」と聞いてくれたので、「イタリアン」と答えた。Joseはずっと「メキシカンの方がおいしいよ。メキシカンが食べたい」と言っていた(笑)。

そうゆうわけで夕食はイタリアン。Jose ごめん(笑)。サービスでサラダとトーストがついてきた。子供のためにぬり絵がでてきて、私のもあった(笑)。みんな店員さんとも仲良く話す。パスタはよく食べる細長いやつじゃなくて、短い平べったいやつだった。私が頼んだやつは、ラザニアみたいなチーズばかりで、食べきれなかった。そしたら、持って帰れるようにパックしてくれた。



帰って、Chika が洗濯物を畳むまでしてくれていた。ありがとう。Jose が “Iron Man” という映画の DVD をみせてくれた。Jose はチョコや、自分で作ったポップコーンを持ってきて、みんなで食べた。夕食おなかいっぱい食べたはずなのに。アメリカンだっ！  
10時半就寝。

### 7月25日(土)

8時起床。今日でChika、Jose、Maya、Mikaとはお別れ。朝食はトーストにハムとチーズ。MikaやMayaはごはんや納豆が好き。みんなで車に乗ってMikaを塾に送ってから、フリーマーケットへ。大きくて、本当にいろいろなものが売られていた。屋外だし、センピは暑いな〜。絵本やニワトリのおもちゃを買った。Mayaもニワトリのおもちゃを買っていた。ふつうのものも、フリマのものも日本より安い感じがする。

Mikaをお迎えに行き、帰宅。Mikaは塾で浮き輪をもらってきていた。みんなとテレビを見て、1時に次のホストマザーのMaureen(マウリーン)がお迎えに来てくれた。みんなと別れるのはさびしかった。Maureenはたぶんはじめて家に来たのに、トイレを貸してもらって、着替えていた



↑フリーマーケット



↑ミドルサイズのハンバーガー

合わなくて、買えなかった。すべて安くてカートが大きい！食品、服、靴、電気製品、ギターまであった。Maureenは靴とバッグを買っていた。店の中にあつたピザハットでフロートを買ってくれた。甘い！マック、Subway、ピザハット、どこでもカップを買って飲み放題。車で家に帰っているとき、本当によくバーガーショップを見るので、「何種類くらいバーガーショップあるの？」って聞いたら「たくさん！」だって(笑)。

家に帰ってホストファザーのLarry(ラリー)に会って、みんなでテレビでRaysの試合を観た。あと“ホーム・アローン2”を観た。言葉分からない…

夕食は今日もイタリアンレストランでパスタ。細長い麺が食べたいと言ったら選んでくれた。ミートソーススパゲティとシーザーサラダとチョコレートケーキ。食べる前に、アーメンをした。いつもするみたい。サービスでパンがでてきて、もっと食べたかったら持って来てくれるらしい！やっぱり大きい！お腹いっぱい！食べきれなかったの、バックして持って帰る。店員さんがお皿を割ってし

(笑)。

Maureenの車に乗って昼食をとりにハンバーガー屋さんへ。ハンバーガーとポテト。電子辞書を使っていると、Maureenは興味津津。電子辞書に「Cool」と言っていた(笑)。バーガーはミドルの大きさなのにお腹いっぱい。おいしい！

家に行って荷物を置いてから、ショッピング。Maureenはショッピングが好きなんだって。“target”というスーパーへ。駐車場でライブをしてるバンドがいた。かっこいい！服や靴をみたけど、サイズが



↑バンドの人たちと



↑チワワのBaby

まったら、お客さんはみんな拍手していた（笑）。誕生日のお客さんがいたみたいで、その人のために、コックさんが歌を歌ってあげていた！素敵！「アメリカの人はフレンドリーでオープンでいいね」と言ったら、MaureenもLarryも嬉しそうに「そうだよ」と言っていた。

帰ってから、飼っているチワワのBaby（ベイビー）の散歩について行った。近所の人に会って、フレンドリーに話してくれてうれしかった。

11時就寝。

7月26日（日）

8時半起床。アップルジュースを自分で入れて飲んで、Larryが毎朝するウォーキングから帰ってくるのを待って、モーニングを食べに行った。トースト、ソーセージ、卵、ポテト。朝からボリュームたっぷり！朝は雷と雨がすごかった。ときどきとても激しい雨が降るんだって。



↑モーニング

MaureenとLarryは教会に毎週行くらしく、一緒に行った。ひざまづいたり、話を聞いたり、歌を歌ったり。教会に来ていたひとはみんな、牧師さんに何か白いガムみたいなものを口に入れてもらっていた。教会らしいパイプオルガンもあったし、お金を集めていた。

そのあと、老人ホームみたいなところに行って、教会で牧師さんがしていたことをMaureenとLarryがしていた。教会に来れないお年寄りのために毎週しているらしい。

そのあと、Maureenとショッピング。古着屋さん連れて行ってもらった。かわいいものが安く売られていたので、Tシャツやショートパンツを買った。私がくしゃみをしていたら、店員さんが「ブラッシュー」と言ってくれたので「Thank You」と言った。

そのあと“masy's”へ。なかにあるFOREVER21に行った。とても安かった。\$15のTシャツが\$4になっていた！コインの出し方が分からないで、困っていると店員さんが出してくれた。Maureenはゼブラ柄のコートを買おうか迷っていたけど、また今度考えてから買うことにしていた。



↑ファミリーのみんな

それから、雑貨屋さんへ。Maureenはヨガの先生をしているから、ヨガ用のマットを買っていた。そのころには、朝から降っていた雨は止んでいて、きれいに晴れていた！センピは雨が降っていても、ずっと降り続くことはないみたい。

家に帰ると、Larryが外にあるプールサイドでチキンを焼いていた。Maureenが昨日のパスタとナチョスを出してくれたので食べた。そのうちMaureenのお父さん、お母さんと娘2人と旦那さん1人がやってきて夕食。ポテト、チキン、ビーンズ。どれもおいしかった！デザートにアップルパイとアイス！高カロリー！

夕食の後、Maureenが「今日買ったもの、みんなにみせてあげたら？」と言ったので、見せた。Maureenのお父さんとお母さんは4年間沖縄に住んでいたことがあったらしく、その時の話をしてく

れたり、写真を見せてくれたりした。みんなとても優しく、楽しかった！

寝る前、Maureen が地図に色を塗っていたので、「なにしているの？」と聞くと、「Larry が来年の選挙に出るからその準備」らしい。Larry は政治家になるのか〜。すごいな〜。Larry に「Are you politician?」と聞いたら「No, I'm a statesman」だって。どちらも“政治家”って意味だけど、“politician”は悪い政治家って感じで、“statesman”は立派な政治家って感じらしい。

11 時就寝。

### 7月27日(月)

9 時起床。朝はシリアルとバナナ。Maureen がバスタオルを巻いてお風呂から出てきた。昨日食べ過ぎたから、朝から走って来たらしい。元気だな〜。昨日の夕食のときにはいなかった、もうひとりの娘の Sarah (サラ) がボーイフレンドと一緒に帰って来た。2 カ月くらいペルーに行っていたらしい。姉妹 3 人とも背が高くてきれい！みんな腰が私の胸くらいの位置にある(笑)。Sarah は疲れていたなので、部屋に寝に行った。

10 時から Maureen がヨガを教えに行くのでついて行った。はじめてヨガをしたけど、結構ハード！太ももの内側がプルプル(笑)。1 時間くらい続けた。

帰りにマックへ。HAPPY MEAL(ハッピーセット)を食べた。かわいい箱にハンバーガー、ポテト、おもちゃ、ドナルド型のクッキーが入っていた。ポテトが日本のマックのよりもおいしい気がする。日本と同じようにアメリカのティーンエージャーもマックでバイトしているらしい。

それからショッピング。Maureen は靴を買っていた。「この前買った靴よりもいいから、この前のは返品する」と言っていた。アメリカでは何でも返品できるんだって。途中で私は鼻水が出ていたので、良 **自転車を積んでるバス** くなるようにとスムージーを買ってくれた。店員さんは横浜に住んでいたらしく、いろいろ話してくれた。今日がバイト初日だったらしい。アメリカに緊張というものはないのか…(笑) Maureen がフロリダのキーホルダーをプレゼントしてくれた。ありがとう。

そのあと、City Hall で会議があったので、少しの間近くにあるセンピのダウンタウンを歩いた。カップケーキ屋さんに行ったり、郵便局を見たりした。アメリカのポストは青色なんだって。Maureen が「Miyuki にとっても特別な 2 週間だと思うけど、私にとっても今週はスペシャルウィークだよ」



↑ ヨガを一緒にした人たちと



↑ カップケーキ屋さんの前で



↑ Maureen と Cha Cha Coconuts で

と言っていて、なんか嬉しかった。信号を渡っていると、自転車を積んでいるバスがあった。写真を撮ろうとすると、運転手さんがピースしてくれた。

参加した会議では、ジョークを言っている人がいて、みんな笑っていたけど私はぜんぜん分からなかった。。

そのまま Pier の Cha Cha Coconuts へ。前来た時もやった柱にコインをのせるやつを3回して成功！ここでの夕食はバイキング形式でおいしかった。ホストファミリーの人や市の人、高松から帰ってきたアナリーゼも参加していた。篠原さんや嶋くんと Pier の中をお土産を買いに回った。Cha Cha Coconuts からの帰りちょうど夕日がきれいだったので Maureen と Larry と歩いて橋を渡った。2人はキスしていた！

帰宅して日本の写真を見せてあげて、お土産を渡した。喜んでくれてうれしかった！日本のお土産をテーブルの上に飾ってくれた。

12時就寝。

7月28日(火)

9時起床。シリアルを食べて、Sarah のペルーでの写真をみんなで見た。ペルーもとってもきれいなところだな。家にギターがあったので、弾いていたら、Maureen がほめてくれた。

昨日アナリーゼに会ったとき、アナがセンピを案内してくれると言っていたので Maureen が彼女に電話して予定を立ててくれた。昨日初めて会ったばかりでも、すぐ友達みたいになっていてビックリ！いいな～。

11時半に17歳のアナが家まで車で迎えに来てくれた。アメリカでは16歳から車に乗れるらしい。1歳年上のアナが車を運転しているのはなんかおかしい感じ！

“Wal Mart” というスーパーへ。服や靴もあって、安い。スカートやTシャツを買った。アナの  
高松での話を聞いたり、私のセンピで  
の話をした。高松でプリクラを撮ったらしい。アナはけっこういろんな日本語がしゃべれるようになっていて驚いた！

そのあとアナのボーイフレンドをアパートまで迎えに行っ



↑ 昼食のハンバーガー



アナたちとー

て、友達を迎えに行った。アナは2人に日本語での自己紹介の仕方を教えていた。ボーイフレンドはアナが高松に行っている時、とてもさびしかったらしい。友達は背がめちゃくちゃ高くてきれい。4人で“macy's”に行った。昼食はハンバーガーとポテトとアイスティー。アイスティーは“sweet”と“non sweet”をブレンドしたらちょうどいい甘さになった！アナの食べていたバナナをあげたような食べ物もおいしかった。昼食の後、靴を買った。

3時半ごろアナが家まで送ってくれた。帰り道少し迷って、「見覚えのある道ある？」ときかれたけど、全然分からなかった。アメリカの道は覚えにくい。。

今日の夜はみんなと Rays と Yankees の試合を観ることになっていて、Rays の岩村選手に会えると



↑野球場

ということで早めに Maureen と車で球場へ。Rays のグッズを持っていたら、T シャツをゲットできるらしく、篠原さんのホストマザーがグッズを貸してくれた！T シャツゲット！そして岩村選手に会った！優しくていい人だった。サインや握手、写真も撮らせてくれた！試合までの間、テレビの人たちに球場内を案内してもらって、グッズ売り場やミュージアムへ行った。席はすごいスペシャル席。個室になっていて、水道や電話までついてた！試合には岩村選手は怪我で出てなかったけど、ヤンキースの松井秀樹がいて興奮！！Rays の応援

に行っただけ、松井がヒットを打ったりしているとうれしかった（笑）。Chika に Rays を応援するように言われた（笑）。応援はみんなグッズを持っていて、Rays がヒットをうったときなんかは大盛り上がり！Maya と Mika が手作りのブレスレットをくれて、うれしかった！テレビの人は「松井にも会いたって言うてくれれば、会えたかもしれないのにね」と言っていた。松井にも会いたかったな～。Maureen と Larry は車で私を球場まで送ってくれたあと、仕事があったので、遅れてやってきた。Larry がホットドッグをみんなに買って来て、お水も持って来てくれた。めちゃ優しい！結局、試合は Rays が 6 対 2 で勝利！みんな喜んでた！テレビの人に取材されたとき、Chika が通訳してくれた。

試合の帰りは人が大勢いてかなり混んでいた。Maureen に「松井が好きなの？」と聞かれたので、「彼は日本人のヒーローだよ」と答えた。

帰宅して、1 時就寝。

7 月 29 日（水）

9 時半起床。Sarah が食べたい物を聞いてくれて、朝食をつくってくれた。トースト、スクランブルエッグ、メロン。とっても優しい。そして Sarah は球場で仕事があるので、Rays の T シャツを着て仕事に行った。

時間があつたので、テレビをつけたら昨日の Rays と Yankees の試合をしていたので、みていると、Maureen と Larry が「教会に行く」と言つたので、教会へ。日曜に行ったところは違って、小さい教会だった。なんか日本のお葬式みたいだったから、「お葬式なの？」と聞いたら、「日曜と同じようないつもの集会」だって。「どうしてそう思ったの？」と聞かれたから、「日本のお葬式みたいだったから」と答えた。

そのあと Maureen とビーチの方へ行った。途中で橋の下を大きな船が通るために、橋が半分にわけて上がっていた。かっこいい！ビーチのまわりにはお土産屋さんやレストランが並んでいた。パーキングには、25¢ 入れると 15 分間駐車できる機械があつた。\$2 入れた。もしお金を入れずに駐車していたら、もっとたくさんお金をとられるらしい。お土産屋さんでは、キーホルダーや帽子を買った。そのあとレストランへ。レストランは船みたいな造りでおしゃれ！Maureen が選んでくれたフィッシュバーガーを食べた。アメリカのレストランは日本のレストランよりも食べ物が出てくるのが遅く、みんなチップをおいて帰る。器の大きな

教会の人→



↑パーキングの機械

アメリカではそれが普通みたい。カッコいいな～！レストランから見える海では、船やモーターボートに乗っている人がいっぱいいた。

そのあと少しスーパーに行って、3時に帰宅して、Maureen と Larry と一緒にクッキーを作った。バターと砂糖たっぷり！混ぜるの大変！Maureen に手伝ってもらった。焼くのは Larry。味見させてくれて、甘くておいしかった！机の上に直接、できたてのクッキーを置いていた。ダイナミック！



Maureen とスーパーの大きなカート↑

そのあと、2人は仕事が忙しそうで、仕事に出かけて行った。だから、Maureen のお母さんが来た。ギターを弾いてあげたらとても喜んでくれてうれしかった。お母さんは日本が大好きらしくて、いろいろ日本の話をした。お父さんは球場に Rays の試合を観に行っているらしい。

そして、うどんをつくった。Maureen と Larry が帰ってきて夕食。ぶっかけうどんとサラダ。気に入ってくれるか不安だったけど、みんなうどんを気にいっ  
クッキーの試食→  
てくれたみたいで、「今度アジアン  
マーケットで探すわ」と言っていた。夕食中、Larry が私が今日買った帽子をかぶった写真を撮ってくれた。



そのあと、お母さんが帰り、テレビで Rays の試合を観ていると、2人が私の家族にお菓子と、私に手紙をくれた。しかも日本語の手紙！翻訳機で日本語に直したんだって。とてもうれしかった。楽しかったことや心に残ったことなどいろいろ話して、写真を撮った。正直まだ帰りたくないな～…この2週間はほんととあつという間だった。

部屋では片付けをしたり、2家族に手紙を書いたりしてから12時就寝。明日は帰国なので4時起き…大丈夫かな。。。

#### 7月30日(木)

朝4時起床。Larry が起こしてくれた。起こしてもらわないと、起きられなかっただろう(笑)。ありがとう。部屋の中で荷物の準備をして、Maureen がくれたジュースを飲んだ。そして、空港で飲むようにとペットボトルの水を持たせてくれた。5時ごろに家を出発し6時タンパ空港到着。ホストファミリーのみんなや市の人が見送りに来てくれていた。チェックインのとき、スーツケースの重さは50ポンドまでだったんだけど、お土産を詰め込み過ぎていて52ポンドもあった。急いで、Chika、Maureen、Larry に手伝ってもらい、なんとか2ポンド手荷物に移すことが出来た。よかった～。

みんなとの別れ際、Chika が  
Maureen、Larry と→  
プレゼントでおかしと、一緒に撮った写真の入ったDVDをくれた。私もお返しに手紙を、Chika と Maureen、Larry に渡した。最後はハグでお別れ。



本当に別れたくなかった。。。センピでの生活はとっても楽しかった。ほんとみんなありがとう。

3人での帰り道、ずっとここにいたいような早く高松に帰りたいような。。。飛行機のなかでは疲れていたの寝ていることが多かった。1人ひとりの座席の前に画面があって、映画も見ることができた。

無事高松到着。やっと着いた～って感じ。みんながお迎えに来てくれていた。しばらくは高松でゆっくりしたいな。でもまた絶対センピにも行きたい！

## 感想文



### セント・ピーターズバーグで学んだこと

高松市立高松第一高等学校 2年

横山 みゆき

本当に夢のようなこの2週間。飛行機に乗り遅れ、ホテルで一泊するという予想もしていなかった事態から始まった旅だったけど、本当に充実した、一生忘れることのできない素敵な旅となった。

この旅を通して学んだことはとても多く、すべてを言葉で言い表すことはできないけど、一つは“チャレンジすることの大切さ”である。まず、この親善研修に応募しなければこんなに素敵な旅にも人たちにも出会うことができなかつたと思う。また、高校生だけで高松からアメリカまで行ったことで、今まで感じたことのない達成感や充実感を手に入れることができた。そして、アメリカでは、日本では経験したことのない様々なことにチャレンジした。この経験は私にとってとても大切なものとなり、私を成長させてくれたと思う。

もう一つは“自分の殻を破る”ということだ。最初は英語を話すのはなんだか恥ずかしかったし、理解してもらえないのか不安でもあった。しかし、アメリカではアメリカ人のようにふるまうことが大切だと思った。だから、何でもいいから積極的に英語で、身振り手振りをつけて話すようにした。するとみんな私を理解しようと助けてくれた。とてもうれしかった。そしてたくさんの友達を作ることができた。

今回の旅で、海外で生活したいという私の夢はより一層大きくなり、たくさんの素敵な友達がアメリカにできた。ホストファミリーとなってくれた Berrios (ベリオス) 家、Ahern (アーン) 家とは日本に帰ってきてからも連絡をとっている。遠いアメリカに友達ができただけは、どんなに素敵なことだろう。この旅で出会った人、経験はどれも私にとって大切な大切な宝物だ。この経験をこれからの生活に活かしていきたいと思う。そしてまたいつか絶対セント・ピーターズバーグに行きたい。

今回、このような機会を私に与えてくださった高松市、セント・ピーターズバーグの方々、ホストファミリーの方々には本当に感謝しています。この経験は一生忘れられないものとなりました。どうもありがとうございました。





## 日 程 表 (Ⅱ)

7月23日      6:35      高松駅発 リムジンバスにて関西空港へ  
12:25      関西空港発 成田空港へ  
15:05      成田空港発 デトロイトへ  
13:45      デトロイト着 入国手続き  
15:20      デトロイト発 タンパへ  
17:59      タンパ着

---

7月30日      7:00      タンパ発 アトランタへ  
8:40      アトランタ着  
10:25      アトランタ発 成田空港へ

7月31日      13:25      成田空港着  
14:35      成田空港発 リムジンバスにて羽田空港へ  
17:00      羽田空港発 高松空港へ  
18:15      高松空港着

## 日誌・活動記録

高松工業高等専門学校3年 篠原 由衣

7月23日(木)

朝4時半起床。これから1日、1人で旅をすると思っただけだった。

6時半リムジンバスにて関西空港へ。塩田常務、石原さん、父、母がお見送りしてくれた。本当にみなさんのおかげで行くことができるのだと思う。ありがとうございます。バスの隣に杉山さんという54歳のおばさんが座っていた。杉山さんは50ヶ国以上の国へ行ったことがあり、今回は台湾に行くそうだ。20歳ぐらいから海外で通訳をする仕事をしていて、その時に寝坊してしまった話や、エレベーター、地下、ホテルに1人でいるのは危ないという話をしてくれた。3時間半ずっといろいろな話を聞かせてくれた。

関西空港着。思ったよりスムーズにチェックインも終わり、ゲートも発見できた。お昼ごはんは、サンドイッチを食べた。ゲートに戻りアメリカ人の女の子に声をかけた。すると人が次々に集まってきてくれた。13人で日本にホームステイをしていたらしい。日本語を結構話せる中国人の男の子もいた。同じぐらいの年の人たちと話せてとても楽しかった。

「頑張ってるね。」と何度も言ってくれた。

成田着。X線にはものすごく多くの人が入っていて、間に合うのか不安になった。14時半、X線を終えゲートへ。出発時刻が予定時刻より20分も早くなってかなり焦った。急いで飛行機に乗り込んだ…のに、予定時刻が過ぎてなかなか出発しない。隣の女性が「こんなに遅れるなんて。」と言っているのが聞こえた。デトロイトで間に合うのか不安…。デトロイトに着いたらすたすた歩こう!! そんなことを考えていたら、バスで隣の席に乗っていた杉山さんの「台風で飛行機が遅れても自分で対処しなければならぬ。何か事件が起こって集合場所が変更されても、誰も教えてはくれない。日本は政府に守られている国!世界で一番安全で親切な国だ。」という言葉思い出して、絶対遅れないようにしようと思った。それから隣の席のめぐみさんとポーターさんとお話。めぐみさんは26歳の女性で、ワシントンに3日間行くらしい。「恥ずかしがらず自分から積極的にね。」と言ってくれた。ポーターさんはアメリカ人のおじさんで、仕事で日本とアメリカを行ったり来たりしている。英語をものすごく早く話すので全く分からなかった。それでも笑顔でいてくれることが嬉しかった。飛行機の中にずっといると腰と足がすごく痛くなって、座っているのが本当に嫌になった。10時間というのは長すぎる!!なかなか眠れなかった。トイレの前の席だったからゆったりしていたけど、2回も足をけられて目が覚めた。それからはめぐみさんと楽しく話をして過ごした。



デトロイト着。すごく長かった…。めぐみさんと一緒に降りた。いくら待っても荷物が出てこなくて、不安でいっぱいになった。指紋を取ったり、全く訳の分からないことを言われたり…。でもめぐみさんの手助けもあり無事全て終了。トイレに行ったら目がものすごく充血していてびっくり。今までで一番疲れたような顔をしていた。

NW49便。係りの人が大声でいろいろと言っているけど、私には分からない。ゲートは合っているよね？出発できるの？と疑問だらけ。出発予定時刻になり、やっと飛行機の中に人が入りだした。飛行機の中に日本人は私だけ。やっと出発だと思ったら、止まった。外はすごい雨…。隣のおばさんと Becca (ベッカ) さん (17歳) と話をした。日本語を全く使えないのはきつい。でも写真を見せたり、物を使ったりしてたくさん話げできた。驚いたのは、母の家族が 15 人、父の家族が 20 人と言ったこと、くるくるパーマが natural!! だったこと。ドルについても教えてもらった。お金はすごく面白いものなのだと感じた。10 セントは自由の女神が手に持っているトーチが彫られているらしい。25 セントには、ワシントン、自由の女神、NY といろいろなものが彫られている。もう着くよと言われて外を見るとびっくり。本当にびっくりした。ものすごく綺麗。湖が数えきれないくらいあって綺麗な海が広がっている。そしてどこまで続くのかと思うぐらい長くてまっすぐな道路。



飛行機から降りてすぐホストマザーのアレクシスが抱きついてきてくれた。すごく明るくて心から来て良かったと思った。自然に笑顔になれた。アレクシスの息子のジョシュア、恋人のデイビッド、娘のキャシリーも待っていてくれた。

海を挟んだまっすぐな道を通って帰った。運転席が左というのは知っていたけど、かなりの違和感だった。積極的に自分からいろいろな話をした。景色を見ながら町の紹介をしてくれた。映画“コクー”のプールも見ることができた。ディズニーランドで見えるようなシンデレラも道路にいた。なぜいたのかは分からないけど可愛かった。



夜ごはんにはピザを食べた。フルーツジュースもサラダも日本のものとは全く違ったけど、とても美味しかった。お店の人がとてもフレンドリーに話しかけてくれた。

21 時 30 分、家に到着。靴を履いたまま家に上がった。聞いたことがあったからあまり違和感はなかった。プールもあって綺麗な家。2 匹の犬 (シーリー、ロミオ) もいた。24 時就寝。

7月24日 (金)

シーリーの吠える声で目が覚めた。時計を見ると 13 時…初日から寝坊。相当疲れていたのかぐっすり眠っていた。急いで準備。昼ごはんを作ってくれた。ポテトとベーコンとフルーツ。ベーコンはカチカチだった。絶対日本のベーコンの方が美味しい。食事を終え、お土産を渡した。芋チップを特に喜んでくれた。私へのプレゼントもくれた。スカート、折り紙、ハンカチ、飛行機グッズなど。なぜ日本の物をプレゼント? と思ったけど嬉しかった。

スーパーへお出かけ。スーパーの中はとても広い。とにかくどれも大きくて、おもちゃ屋さんようだった。100 均もあった。Dial という石鹸を買った。買い物の時間はかなり





短いように感じられた。

ドーナツのお店へ。ケーキもたくさん置いてあった。私はショートケーキを食べさせてもらった。大っきな苺が4個ぐらい入っていた。生クリームはもっさりしていて甘い。日本のよりいいかも♥

家に帰るとすぐデイビッドとキャシリーが来た。アレクシスに渡したのと同じお土産を渡した。写真を見せて家族や行事、高松のことについて話した。お雑様の写真も持って行っ

たが説明が難しかった。

キャシリーの運転でデイビッドのマンションへ。アメリカでは16歳から運転できるらしい。アレクシスの家もそうだけど、どの部屋を見てもRaysのグッズがあった。キャシリーがNYに行った時の写真を見せてくれた。どれも楽しそうな顔をしている。デイビッドと一緒に行ったみたいだ。他にもキャシリーの写真がいっぱい飾られていた。写真をいっぱい飾ったり、抱き合ったり、日本にはないものだなと思った。キャシリーがバイトに行った後、ジョシュアとWiiをした。ボウリングや野球、音楽のゲームなど。ストライクが出るとデイビッドやアレクシスが手を叩いて喜んでくれた。

ビーチへ。水が温かくてびっくり。こっちは日差しがすごく暑いのに汗が全然出なくて変な感じ。過ごしやすい。釣りをしている人や歌を歌っている人などすごくたくさんの方がいた。

海に入って珍しい貝を見せてくれた。ここにはやけに貝があった。ビーチは貝だらけで歩くのが一苦労だった。みんなは貝など気にせず歩いていた。海の近くのハウスに入った。

ライブを見ている女の人に20回以上もキスをされてびっくり。私は気にしなかったけど、アレクシスが本当にごめんねと何度も謝ってくれた。

帰り道にお寿司屋さんへ寄った。韓国人の人が経営しているお店だった。韓国人の英語はかなり聞き取りやすかった。アメリカ人の英語とは全然違うなと思った。ジョシュアはウナギを気に入っていた。

22時帰宅。家のプールへ。すごく綺麗で、星もよく見える素敵なプール。アレクシスは音楽をかけながらプールで踊っていた。ジョシュアはいろんなポーズでプールの中に飛び込でいた。向かい側に住んでいるケルシー(10歳の女の子)も来た。みんなでワイワイ。

1時就寝。もう眠すぎ…今日は昨日の10分の1ぐらしか話すことができなかったかな。



## 7月25日(土)

8時半起床。すごく眠たい。ジョシュアはいなかった。たぶんティーンキャンプ。

今日はgirl's day!!アレクシスと二人きりなのは初めて。車の中でいろんな話をした。アメリカ

では、お酒は21歳、たばこは18歳かららしい。

マーケットへ。市場のような場所で、新鮮な食べ物や手作りの物がたくさんあった。肉じゃがに使う玉ねぎと人参とじゃがいもを買った。じゃがいもにもたくさんの種類があって何を買ったらいいのか分からなかった。アレクシスはチェリーやマンゴーを買っていた。カットされてないマンゴーを初めて見た。匂いのきつい野菜もたくさんあった。チキンを焼いているタキシードマンもいた。「またアメリカに戻ってきてね。いつでも待ってる。」と言ってくれたのがとても嬉しかった。



Ma11へ。キャシリーとデイビッドが待っていてくれた。アレクシスとデイビッドと別れて、キャシリーと2人でお買い物。まずいろいろなカードを売っているお店に入った。ディズニーや歌手などが載った可愛いカードがいっぱい。記念に音楽付きのカードを買った。嶋君も来ていたので、嶋君のホストファミリーにご挨拶。次はForever21に。行ってみたかったから嬉しい。安い服がいっぱい。試着もさせてもらった。気に入った服を3枚購入。キャシリーはバイトに行ってしまった。



アレクシスと2人でネイルへ。大きな店なのにお客さんがいっぱい。アメリカの女性はオシャレだと思う。子供から老人までほとんどの人がネイルをしているし、キャミソールや短めのスカートなどを着ている人も多い。しばらく足をお湯につけマッサージ。それから爪を磨いてくれたり、何度もマニキュアを塗ってくれたり。すごく丁寧で気持ちよかった。

デイビッドとジョシュアと合流。ボートへ行くそう。昨日ボウリングを見ながら「明日はボート。またここに来るから。」と言われたので、アメリカではボウリングのことをボートというのだと思っていた。連れてってくれたのはオシャレな家。アレクシス達も初めて来るようだった。玄関の方は住宅地のような感じだったが、反対側は海に面していてボートもあった。ここに来てボウリングじゃなくてボートだったんだと気づいた。そこにはバナナも植わっていた。バナナがなっているなんて感激。バナナはすごく甘くておいしかった。



水着に着替えて海へ。そこに住んでいる30代ぐらいの夫婦がボートを出してくれた。旦那さんは、かっこよくてすごく優しい人。ゆっくり話してくれるし、体全体を使って表現してくれるのでわかりやすい。ボートの運転もさせてもらった。本当に自分が動かした方向に動いた。ボートをゆっくり進めるのは、速く進めると波が立ち近所の人に迷惑がかかるかららしい。家が並んでいるところを抜けると海が広がっていた。昨日行ったビーチも見えたし、2人が結婚した場所も教えてくれた。ピンクの可愛い建物だった。海賊船もいた。会う人、会う人が手を振ってくれる。

スピードアップ。ジョシュアが運転していた。いきなり速くなったので体がふわっと浮いた。体を押さえてくれるデイビッドはお父さんのようだった。とっても気持ちいい。しばらく乗っているとビー



チへ。海はゴミがなくてすごく綺麗。アメリカに来て道端でゴミを見てない気がする…

珍しいヒトデ発見。みんな驚いていた。このヒトデも生きているらしいから海に戻してあげた。アレクシス、ジョシュア、と一緒に散歩。ここにも貝殻がいっぱい。3人が私のために綺麗な貝殻を集めてくれた。ありがとう。砂浜を歩くときゆつきゅつという音がして楽しかった。

ボートに戻ってフルーツを食べた。今日買ったチェリーやメロン、スイカ、ぶどうなど。音楽に合わせてみんなノリノリ。帰りにイルカが飛んだのを見た。一瞬だったから良く見えなかったのが残念。ここにはイルカがいっぱいいるらしい。

家へ。「今日はGirl's day。いいものだから大切にね。」と言ってメイクアップセットをくれた。ありがとうございます。

写真を見せてくれた。シーリーやロミオは小さい時からこの家にいるようだ。ジョシュアは可愛すぎる。4人でNYへ行った写真もあった。

デイビッドとキャシリーが来た。キャシリーがお土産のお返しにプレゼントをくれた。Forever21の可愛いサングラスとマニキュア。ありがとう。

5人で夜ごはんへ。今日の夜ごはんはハンバーガー。アレクシスと同じチーズバーガーを注文した。



アメリカのハンバーガーは大きいと聞くので楽しみにしていたが、日本と変わらないくらいだった。チーズバーガーにはマッシュルームまで入っていておいしかった。ただでもらえるピーナッツやポテト、飲み放題のジュースを飲んだ。ポテトはものすごい量があって食べることができなかった。

バーガーショップの近くにあるお店で買い物。USBを探したがここにはなかった。可愛いケーキがたくさん置かれていた。体重計もあった。日本のものとは値が全く違ってびっくりした。乗ってみたけど、体重が何キロだったのかは分からなかった。ここには買い物をしたかご専用のエスカレーターもあった。

21時30分帰宅。扇子、5円玉、50円玉、紙風船等をあげた。デイビッドが5円玉、50円玉の説明を一生懸命聞いてくれた。ジョシュアは膨らました風船を扇風機で飛ばして遊んでいた。キャシリーとは学校の話やファッションの話で盛り上がった。キャシリーの学校は車で登校したり、マニキュアを塗ったりするのは許されているらしい。でも化粧はダメ。母の日は5月、父の日は6月で日本と一緒にだった。

2人が帰り、22時プールへ。今日もケルシーが来た。姉のマケーラも今日は一緒だ。今日は積極的に話せた。話す内容



がないと思っていたけど話すことはいっぱいある。昨日より話ができしたのは心に少しゆとりができたからかも。ケルシーとマケーラは細長い魚を2匹飼っているらしい。見てみたいな。

7月26日(日)

9時出発。朝食を取りにドーナツ屋さん(DUNKIN' DONUTS)へ。チョココーヒーとマフィンを食べた。すごく甘かったがおいしかった。コーヒー3つ、ドーナツ3つ、マフィン2つで1000円と、とても安い。コーヒーはスターバックスみたいだし、マフィンは温めてバターを乗せてくれている。

水中で使えるカメラを買うため薬局へ。ここでもどっさりお買い物。店に行くとジョシュアがいっぱい説明してくれるから楽しい。ジョシュアの英語は分かりやすいし、私が言うこともよく理解してくれる。アレクシスにはマクドナルドも伝わらなかった。意外にもマクドナルドの発音は難しい。ジョシュアが理解してくれるのは年が近いからかもしれないな。

プールまで今から2時間ドライブ。車に乗る時は、いつもジョシュアがドアを開けてくれる。ジョシュアが携帯で地図を見せてくれた。すごく遠い…セント・ピーターズバーグは小さいな。



着くまで2人が周りの建物の説明をしてくれた。タンパの都市は大きくてよく印象に残っている。後驚いたのが、ワシントンやリンカーンがドルだけでなくお札にも載っていたこと。

ディズニーの建物やディズニーのバスがたくさん見えてきた。山道を通りプール到着。2人もここに来るのは初めてらしい。ディズニーのプールだったのでびっくり。入ってすぐ大雨…雷もゴロゴロ鳴っていた。お土産屋を見ながら待たがなかなか止まなかった。ジョシュアがちょっと不機嫌になっていた。ジョシュアは泳ぐのが好きだからな。2人はいつも仲がいいのに、珍しく喧嘩していた。2人で撮った写真を飾ったり、抱き合ったりしていたし、ジョシュアはいつも優しくかったから喧嘩とかはないのかと思っていた。けどそういうところは日本人と変わらないのかも☆

雨が止む頃にはどっと人が減っていた。まずスライダー!! 大きな浮き輪を運び1人ずつのスライダーに乗った。ディズニーだけあってすごい。

流れるプールへ。浮き輪に乗ってプカプカ。すごく気持ちいい。さっきまでの雨が嘘みたい。途中で滝のような場所や、水鉄砲のようなものがあった。はぐれないようについていった。

今度は3人の乗りのスライダーへ。さっきのスライダーより迫力がある。3人乗りの浮き輪は相当でかいから運ぶのも一苦労。階段を昇って出発!! ヤバイ〜!! みんなでキャーキャー言いながら楽しんだ。2人乗りは混んでいたが、3人乗りの人はあまりいなかったので4回連続で乗れた。「雨のおかげでいい感じだわ。」とアレクシスが笑ってた。4回目乗る時にやけに後ろから押してくる子がいた。何だろうと思っていたら声をかけてくれた。10歳の元気な可愛い女の子。どこから来たの? とか日本はどんなところ? とかいろいろなことを聞いてくれた。日本に関心を持ってくれて嬉しかった。その



子のお兄さんやお姉さんともお話しした。とっても面白い子だった。

メインの波のプールへ。波のでかさにびっくり。思っていたのの5倍ぐらいあった。あっという間に波にのまれ、後はぐちゃぐちゃ。多くの人とぶつかり、立とうと思っても下に人がいてなかなか上手く立てなかった。

どんどん進み足がつかない所まで来た。2回目の波はさっきより慣れたのかいい感じ。…と思っていたら体が息を吸っては沈み上手く泳げない。体が上がったり下がったりして溺れそう。ジョシュアが「Yui, Yui」と何度も呼んでくれているのが聞こえた。みんなで浅い所に避難！鼻水は出るし…苦しかった。

また雨…台風のせいらしい。帰ることになって残念。

帰りにショッピング。水着で歩くのはちょっとドキドキ。トイレで着替え。大きなショッピングセンターで、ブランド物などがたくさんあった。



フードコートにはお寿司屋さんも。りんご飴屋さんもあった。見たこともないりんご飴ばかり。「夜ごはん何がいい？お寿司食べたい？」と聞かれたので、アメリカの食事を食べたいと答えた。2人が相談して連れて行ってくれたのはバイキングだった。中央では日本では考えられないほど大きいステーキを焼いていた。他にもサラダやポテト、デザートがあった。特に肉が多く置かれていた。帰っていく人のテーブルを見るとたくさん食べ物が残されていた。どのテーブルもそんな感じだった。食事はとにかく味が濃くて甘かった。ステーキはちょっとかたかったかな。勧められて食べた苺がとても美味しかった。ジョシュアは食べ過ぎたのか気分がかなり悪そうだった。大丈夫かな？

21時30分帰宅。ジョシュアが折り紙を出してきた。大きな箱にもものすごい量の折り紙が入っていた。ジョシュアは折り紙が好きらしい。アメリカの折り紙も見せてもらった。ジョシュアは私より断然折り紙が上手だった。

水風船を作って遊んだり、自転車とボードで夜の散歩をしたり。こんな遅い時間に大丈夫かなと思いつつ近所の家を見て回った。

24時。洗濯機を借りた。“洗濯機”を辞書でいろいろ調べたけどなかなか伝わらなかった。

1時45分就寝。明日は起きられるのかな…

## 7月27日(月)

目覚めてすぐスイムテストへ。家の近くのプール場に向かった。ジョシュアのテストなのになぜか私も着替えさせられた。「泳いでみて」と言われたけどプールの中にいるのは小さい子ばかり。嫌だな…私も見ていたい…と思っていたら連れて行かれた。ジョシュアが見本を見せてくれた。飛び込み、クロールで15メートルか20メートルほど泳ぐというものだった。私のテストなのか…

無事終了。こんなのをたくさんするのかと思ったら、これ



で終り。何だったのだろう。

Best Buy という電気屋さんへ。デイビッドお気に入りのお店。みんなの写真のデータを貰う為に USB 購入。アレクシスは昨日プールでカメラを壊したので、新しいデジカメを買っていた。

図書館へ。ここでお菓子を食べてもいいみたい。学生が話をしたり、勉強をしたりする部屋や小さい子供が遊べる部屋などがあつた。ここでお土産にココーンの本を買つた。

Fire station へ。すごく楽しい。ここはジョシュアの父が働いている場所。人の体温が分かるカメラ、水を操作する所、消防車の中を見せてもらった。ボートの運転と同じくらい良い経験ができたと思う。消防士の服も着させてもらった。靴がものすごく重い。普通に歩くこともできない。写真を撮る為に、消防署内の人が全員出てきてくれた。女性の人もいた。とっても綺麗な人でこの人があの重たい靴を履くなんて考えられない。ジョシュアの父が中にも案内してくれた。ここには3人のシェフがいて、一週間



交代で出勤するらしい。3人ともにそれぞれ大きな冷蔵庫が用意されてい

た。一周目のシェフが作ったホットドッグを頂いた。睡眠を取る所や着替える所も見せてくれた。電話係りの人がやけに笑いかけてくれた。

ボウリングへ。おじいさん、おばあさんがいっぱいいた。アレクシスもジョシュアもマイシューズを持っていた。アレクシスはボウリングのピンのマークが入った靴下。1回目はみんな100点越え。2回目はちょっとお疲れぎみ。

ピアで食事会。キャシリーとデイビッドと合流し4人で向かった。ピアからの景色は最高。市の職員の人、みゆきちゃんや嶋君のホストファミリー、アネリーゼさんなどいろいろな方とお会いした。



学校の国語の先生にそっくりな人もいた。間違えるほどそっくり。みんなすごく明るくて楽しい人達ばかり。みゆきちゃんと嶋君も楽しそうに笑っていた。日本人のママもいて嬉しかった。ついつい日本語ばかりに。



食事はナチョス、ポテト、フルーツなどの食べ放題。私たちもみんなの前で挨拶があるのかと思っていたけど、挨拶することもなく自由な感じだった。一通り挨拶が終わるとジョシュアとキャシリーが買い物に誘ってくれた。みゆきちゃんと嶋君も誘って5人でお買い物。ココナッツが入った商品がたくさんあつたので、ココナッツ

チョコを買った。みんなでわいわいできて楽しかった。みんなで写真撮影。綺麗な夜景だった。

21時ベイウォークへ。まだ出掛けるなんてみんな元気だ。ベイウォークは何となくビーチかと思っていたが映画、ショップ、レストランがある人気の場所らしい。もう夜なので多くの店が閉まっていた。BEN&JERRY'Sと言う所でアイスを食べた。ここでもアレクシスの知り合いに会った。行くところ行くところでアレクシスの知り合いがいる気がする。すごい人だな。

22時30分帰宅。ジョシュアはプールで泳ぐ気満々。でも明日も早起きらしいし、もう無理～。ジョシュアごめんね。

部屋に帰りお礼の手紙を書いた。今日はアレクシスの分だけしか書けなかった。アレクシスは喜んでくれるかな？一人になると疲れを感じるな。あー今日も頑張った♥!



7月28日(火)

7時起床 もうちょっと早く起きる予定だったのに。今日は忙しい日らしい。

すぐに出発し、学校のような所に到着。学生がいっぱいだった。あるクラスに入るとすぐ女の子達が話しかけてくれた。みんな美人。何故かすごく嬉しかった。先生とも挨拶。昨日のテストは今日の為のものらしい。アレクシスが帰っていく。えっ…置いて行かれるの？ティーンキャンプとか聞いてないよ～。

アレクシスが帰って急に心細くなった。どうしよう。マケーラと一緒にいてくれるし、いろいろな子が話しかけてくれるけど不安…気が重いままバスへ。女子と男子で違うバスに乗り海へ向かった。前に乗っている子は本当に美人!! テンションも高くてアメリカ人って感じで圧倒された。今日集まっているのは12歳と14歳の子達。いろいろな学校から集まっているので、知らない子もたくさんいるらしい。夏休みの暇な日に参加するそうだ。すごく質問をいっぱいされた。日本に関心を持ってきているんだな。でも、ものすごく早く話すから聞き取れない。聞き取れなかった質問の内容を横でマケーラがゆっくり教えてくれた。ここから海まで2時間かかるらしい。かなり寝心地は悪かったが少し寝た。

プール到着。またいろいろな子が話しかけてくれる。日本から来たと言ったら喜んでくれるのが一番嬉しい。私が18歳だと知ってみんなびっくりしていた。12歳の子と身長が変わらないからかな。すごく自然あふれるビーチだった。水





が冷たい。ダイブをしたり、スライダーに乗ったり。マケラが一緒にいてくれるのがすごく心強い。

お昼ご飯にポテトを食べた。ポテトの上にチーズがたっぷり。あり得ないぐらいのチーズの量。大好きなチーズが嫌いになりそうだった。1/4ぐらいしか食べられなかった。日本食は素晴らしい!!!

誰かが言っていたように本当に黒人の手の平は白かった。すれ違う人が次々に「Yui 楽しんでる？」と声をかけてくれる。

先生も気を遣って何回も話しかけてくれた。初めからもっと積極的に楽しめばよかったな…

14時アレクシスとデイビッドがお迎えに来てくれた。みんなとお別れして先に帰った。すごく疲れていたのもで車ではぐっすり眠っていた。

トロピカーナ・フィールドへ。4人とも Rays の服を着て、グッズや応援道具もいっぱい持っていた。熱狂的な Rays のファンみたい。ジョシュアが好きな3番のロンゴリアを見るのが楽しみ。みゆきちゃんと嶋君も来た。ゲストのカードが配られ、それを付けて中に入った。中に入るとすぐにアレクシスに Rays のグッズを渡された。Rays に関する物を身に着けていると、Rays のファンだということでTシャツをくれるらしい。背の高い女性が案内をしてくれた。今から岩村選手に会えるらしい。「岩村



選手は怪我をしているから、きっと日本だろう。きっと会えないね。」と言われていたので諦めていた。こっちに来てくれて良かった。報道陣に囲まれながら岩村選手と挨拶!! テレビや写真で見るより断然カッコイイ!! クールな感じだった。まず握手をしてくれた。「1」と書かれたネックレスがピカピカ光ってやけに気になった。「どうだった? 英語は話せるようになった?」と聞いてくれたり、「せっかくのいい経験だから将来に活かしてね。試合出れないけど、ベンチにいるから。」と話してくれたり。サインももらい、もう一度握手。

一緒に写真も撮ってくれた。

エレベーターに乗り一般の人は入れない部屋に招待してくれた。座り心地も抜群! みゆきちゃん、嶋君、ジョシュアと共に1番前の席に座った。「あれ松井選手じゃないですか?」というみゆきちゃんの一言でテンションが上がった。怪我の為、岩村選手も松井選手も諦めていたのに!! 小さいけど松井選手って感じ・写真もズームで撮りまくり。

お土産売り場へ。テレビ局の人が案内してくれた。ものすごく人が多くてついて行くのに必死だった。みゆきちゃんとお揃いのTシャツと、ボールを購入。

ここでくれたTシャツを着てRaysを応援。初めて見るメジャーの試合。ボールはすごく速いし、Raysのピッチャーはカッコいい。2回で1点先取。3回でもまた1点。打てるし、守れるし。ホームランやゲッツーも見せてくれた。Let's go Rays! ロンゴリアが3塁でボールのフライをキャッチ。キャシリーとジョシュアが隣でベルを鳴らしたり、ラッパのようなものを吹いたり、ブーと言ったりしている。ヤンキースの



4番の人へは、ものすごいブーイング。ちょっと可哀想。松井選手は5番。最終回で松井選手が3塁ギリギリへのヒットを見せてくれた。ジョシュア達はブーイングをしていたが、ついつい喜んでしまった。

6対2で Rays の勝ち。とても楽しい試合だった。

23時帰宅。もうぐったり。3人に手紙を書いて、おやすみ。

7月29日(水)

今日が最終日。今日はリラックスデーらしい。

「朝食は何がいい？」と聞かれたので、スクランブルエッグと答えた。アレクシスのスクランブルエッグは最高!!! トッピングはチーズとトマトをお願いした。トマトはなかったがたっぷりのチーズを入れてくれた。この前買ったマンゴーも。皮を剥いて、芯を取って食べた。冷凍で食べるマンゴーより濃かった。

帰る準備。来た時より絶対重い…

ジョシュアとゆっくりシンプソンを見た。ちょっと聞き取れるようになったので面白い。いつの間にか眠っているとアレクシスが帰ってきた。昼食を取ってお出かけ。

まずアレクシスの仕事場に向かった。アレクシスの駐車場は35番。ここはよく影になるんだと嬉しそうに話してくれた。ここで15人以上に挨拶したと思う。全員の人に挨拶にいった。みんなの言っていることがすごく聞き取れた気がする。それが嬉しくて自然に笑顔になれた。簡単な挨拶なら自然にできるようになっていた。みんながTシャツやポスターなどのお土産を渡してくれた。ライチをくれた人も。お土産いっぱいありがとう。スーツケース入るかな…?

ドライブをしていると道路に大きなでっぱりがあった。これは車のスピードを落とさせるためのものらしい。ここは近くに公園があり、小さい子がよくこの道路を横断するのでこのでっぱりを付けている。そういえば学校などにも付いていたな。アメリカの道路はとにかく標識が多い気がする。1667のように住所も大きく書いている。

公園の前の川にはワニがいるらしい。そんな所で子供たちを遊ばしてもいいのかな?

コクーンダンスパーティー会場へ。今日はここでパーティーがある為開いていた。アレクシスの友達に許可をもらい入れてもらった。ここでも大勢の方と挨拶。アレクシスの職場で会った人の息子もいた。

天井にはキラキラ光る飾りが吊るされ、ステージには動物や星型の風船を待ったピエロ。周りには小さな個室がいくつもあった。

役場のような所に連れて行ってくれた。ここでも挨拶。今日は挨拶ばかりだな。市長の部屋や会議室、印刷室などを見せてもらった。日本の物もたくさん飾られていた。市長の部屋には高松に来た時の写真や家族の写真が飾られていた。アレクシスが撮った写真もあった。会議室ではこっそり市長の椅子に座って記念撮影!! 印刷室では広告が大量に刷られていた。ここには昨日取材に来た人も勤めているらしい。写



真室にも寄った。岩村選手と一緒に写っている写真を大きく印刷してくれた。すごく記念になるな。ありがとうございます。印刷してくれている間にトイレに行ったら、セキュリティーが万全で入れなかった。

帰宅。ケルシーがサイクリングに連れて行ってくれた。マウンテンバイクのような自転車。何度もこけそうになった。きちんとヘルメットを被り、車にはかなりの注意を払っていた。住宅街だから危ないのかな。近くにある高校を見てUターン。同じような道ばかりなのでケルシーも道に迷っていた。

18時30分、何とか無事到着。キャシリーとデイビッドが来ていた。今日は私がご飯を作る日。うどんと肉じゃがをご馳走する予定。まずは、うどんから。小麦粉、水、塩を準備!!小麦粉を量ろうと思ったら、秤がない。アレクシスはあまり料理をしないからな。目分量しかない…軟らかかったので何度も小麦粉を足した。生地を足で踏むのを体験してもらった。ジョシュアもキャシリーも楽しそう。生地をねかしている間に肉じゃがを。人参がやけに細くて切りにくかった。

21時何とか完成。まあまあいい感じ。でもよく考えたら肉が入ってない。すっかり忘れていた。みんな美味しいと言いながら食べてくれた。なぜか人数分の箸



もあった。キャシリーは箸にかなり手こずっていた。右手に1本、左手に1本箸を持って頑張っていた。持ち方を教えてあげたが、やっぱり難しいみたい。キャシリーが肉じゃがをすごく気に入ってくれて全部食べてくれた。良かった。

キャシリーに浴衣を着せてあげた。背が高いから、浴衣が短く見えた。スタイルも抜群。なかなか上手く着せれたかな。キャシリーは浴衣がすごく似合っていた。モデルみたいに綺麗。

持ってきたかいがあった!!

ケルシーと最後の挨拶。ありがとう。

みんなに手紙を渡した。アレクシスにはみんなの似顔絵も渡した。なんか小学生の絵のようになってしまったけど、喜んでくれていた。ちょっと泣きそうになった。もう体はくたくただけどもうちょっといたいな。別れるのは寂しい。

岩村選手にお札の手紙を書いた。おやすみ。

#### 7月30日(木)

アレクシスが手をたたき音で目が覚めた。もう4時半。顔を洗って、布団を直してすぐ出発。すごく眠くて欠伸が止まらない。アレクシスが枕を準備してくれていた。

40分後タンパ着。荷物の重さを計ると56kg。ヤバい。半分以下なんて無理…でもお菓子をちょっと手荷物に移動するだけで済んだ。そういえば日本とアメリカでは単位が違うんだ。手荷物はいっぱいになってしまったけど仕方ないな。

朝食を取りにハンバーガー屋さんへ。これが最後の食事。ちょっとしょっぱかったけど美味しかった。ハンバーガーを買う間にデイビッドが鞆を持ってきてくれた。手荷物が多くなり



すぎて、ビニール袋に入れていたから気を遣ってくれたみたい。最後まで本当に優しくて最高の家族でした。ありがとう。最後のお別れをして、ゲートに向かった。

Eゲートに到着し、X線。この荷物は誰のと聞かれた。重量オーバーで慌てて、液体物のことをすっかり忘れていた。アレクシスがくれたお土産を2つ取られ、コーラも没収。ひどい…アレクシスごめんなさい。

アトランタ着。アトランタは広すぎる。どっちに行くの？ X線は通らなくていいの？と疑問だらけ。ついつい3人いると人任せになってしまうな。ゲートに着くと日本人もいっぱいいて安心。飛行機の中は来る時に乗った飛行機よりゆったりしていて、座り心地もよかった。一人一人にテレビが付いているし、日本語の映画などもたくさんあった。3本の映画を見た。

日本に帰るともうくたくた。荷物は重いし。早く家に帰りたい。高松空港に着くと、いろんな方がお迎えに来てくれていた。ありがとうございます。とっても楽しい研修でした。



## 感想文



高松工業高等専門学校 3年  
篠原 由衣

### 最高の出会いをありがとう

アメリカに旅立つ2日前の皆さんと食事会の帰りに、友達から「寮で新型インフルエンザが出たらしいよ。今すぐ帰ってきて。」と言う電話を受けた。急いで学校に帰ったけれど学校側もパニック状態で、そこで出された判断は“アメリカには行かせられない”というものだった。

次の日の朝から塩田常務、小林さん、先生など多くの方から何度も電話があった。会議を開いてくれたり、常務が学校の方と話し合いをしてくれたりして最終決定が出たのは夕方だった。“やめる”か“遅れて一人で行くか”，という選択肢を与えられた。行きたいという気持ちはあったがそれ以上に不安という気持ちの方大きかった。飛行機も一人で乗ったこともない私がアメリカまで辿り着けるのだろうか。不安でいっぱいだったが、こんなにも多くの方が協力してくれたのだと思ったら勇気が出た。

「あなたの笑顔があれば大丈夫。一人で飛行機に乗ることで見えてくるものもあるのではないかな。」という先生の言葉にも励まされ、昨日よりもっともっとアメリカに行きたいという気持ちが強くなった。せっかくこんなに多くの方のお陰で行けることになったのだから、できるだけ多くのことを学んで帰りたい。この時“100人の友達を作って帰ろう”という決意をした。

この決意の下、バスの中や飛行機の中であるべく多くの方に話しかけた。いろんな方と話すのが楽しくて、アメリカまであつという間に感じられた。空港でのアレクシスとの出会い。私はこの瞬間を忘れないだろう。すごく嬉しい気持ちと、ほっとして涙が出そうな気持。この時になってやっと、こんなにも緊迫していたのだと気づいた。

今になっても思い出すのはみんなの笑顔で、人の繋がりがってすごいなと感じた。知らない人でも笑顔を見せてくれただけでこっちまで笑顔になれる。その笑顔だけで生まれた環境が違って、言葉が違って通じ合うことができた。私の楽しい時間には常に笑顔があったと思う。

この他にも多くのことを学ぶことができた。その中でも私が感じた一番の違いは“雰囲気”だ。アメリカ人ははっちゃけている、楽しんでる、子供心を忘れていない、そんな風に思えたのに対し、日本人は真面目でしっかりしているが内気だと感じた。この雰囲気の違いから衣食住の違いが生まれてきたのだと思う。プールがあったり、仕事があるのにネイルをしたり、誰にでも話しかけたり。日本では考えられないようなことばかりだ。日本人にはない良さだと思う。だけど日本の方が良いところもたくさんある。伝統がありそれを大切にしているなと思ったし、母の食事を家族揃って食べることがどんなに幸せなことか感じられた。日本の良さを大切に、これからの人生にアメリカで学んだことを取り入れていきたい。

この経験は私にとってかけがえのないものだ。一生私の誇りとなるだろう。“100人の友達を作って帰ろう”という目標も達成できたように思う。本当にたくさんの方とお会いすることができた。みんなから貰ったメッセージは私の宝物だ。



このチャンスをくださった多くの方々本当にありがとうございました。多くの迷惑をかけましたが、一人でアメリカに行ったということが私の自信にもなりました。みなさんのお陰で行ってこられたことは絶対に忘れません。これからもっともっと英語を勉強していつかアレクシス、ジョシュア、デイビッド、キャシリーの元へ帰りたと思っています。高松市の方々や、セント・ピーターズバーグ市の方々本当にありがとうございました。